



第31号

編集発行

園田学園女子大学

シニア専修コース

「けやき便り」

編集クラブ

共に学び続けることで 豊かな人生を

園田学園女子大学 情報教育センター

尾崎 誠



シニア専修コースの皆さま、こんにちは。

本年度より、基礎情報（後期）を担当しております尾崎誠と申します。宜しくお願い致します。

シニア専修コースも後期を迎え、ある程度学修環境に慣れてきた頃ではないかと思えます。学び続けるということは、楽しさもありますが、同時に大変なこともあるのではないのでしょうか。

教養とは様々な解釈がありますが、「経験や知識をしっかりと身につけることで養われる心の豊かさや品格」とも言われます。皆さんはこれまでの人生で様々な経験を経てきたことと思います。これまでの義務教育やその延長において、勉強して得られた知識だけではなく、経験をもとに得られた学びなどが加わり、それが教養として身に付きます。それにより、言動に深みが出てより豊かな人生をおくることができます。

私もそうでしたが、学生の間は勉強して得た知識に対して、経験をもとに得られた学びが圧倒的に不足しているため、豊かな教養を身に付けることはできませんでした。社会に出て働き始めると、経験による学びは増えていきますが、逆に勉強して得た知識がどんどんと失われていきます。そのため、豊かな教養を身に付けるためには、常に知識を得る、あるいは失わないための不断努力が必要となります。

しかしながら、不断努力を重ね、知識と経験による学びにより教養を身につけることができれば、豊かな人生をおくれることは間違いありません。シニア専修コースで共に学び続けることで、皆さんと教養あふれる豊かな人生をおくれるように、私自身も様々な知識を身につけていきたいと思っております。皆さまがこれまでに得た知識や学びについて、色々と教えて頂けたら幸いです。

尾崎に移り住んでまだ2年弱です。美味しいお店などを紹介して頂けると非常に有難いです。特に、魚介類が好物なので、美味しいお刺身が食べられるお店は大歓迎です！

目 次

共に学び続けることで豊かな人生を……園田学園女子大学情報教育センター	尾 崎 誠	P1
目 次……		P2
先生方からのメッセージ……		P3
〈特別寄稿〉「新世界」の周辺に拡がる移民の街を歩く……(国際)先生	吉 本 康 子	P4
〈先生へのインタビュー〉情報学科 山本 恒先生 ……	編 集 ク ラ ブ	P5 P6上
〈先生へのインタビュー〉国際文化学科 堀田 あゆみ先生 ……	編 集 ク ラ ブ	P6下 P7
第61回「けやき祭」……	編 集 ク ラ ブ	P8
松山先生と行く長崎の旅 ……	研 究 生 小 笠 原 昭 博	P9・P10
松山先生と行く長崎の旅 ―報告会より― ……	研 究 生 小 笠 原 昭 博	P11
尼崎運河クルーズを楽しむ……	研 究 生 高 山 純 子	P12
遊歩クラブ【学園バス利用による琵琶湖一周の旅】……	研 究 生 川 田 郁 夫	P13・P14
タイからマレーシアへの周遊旅行……	情 報 1 年 十 河 和 夫	P15・P16
天の川銀河に思いを馳せて ……	国 際 2 年 飯 田 光 治	P17・P18
『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』 ……	研 究 生 田 中 祐 二	P19・P20上
〈わたしの練習作品〉水彩画……	国 際 3 年 山 根 邦 男	P20下
奇跡の史跡公園 田能遺跡 ……	研 究 生 阪 田 正 樹	P21・P22上
〈わたしの作品〉スケッチブックから……	研 究 生 松 原 光 治	P22下
よもやま話の会報告……	研 究 生 三 木 静 子 河田かつのぶ	P23
心と体が揺れた 学園祭に参加して……	情 報 1 年 十 河 和 夫	P24
長崎というところ……	研 究 生 井 上 聖 明	P25
唐人屋敷を訪ねて……	研 究 生 島 寄 静 代	P26
86歳の風景 シニア理事長奮闘記……	研 究 生 中 村 米 三 郎	P27
シニアの夢物語……	研 究 生 三 谷 美 沙 子	P28
「サマセミ」と「サマライ」……	研 究 生 徳 田 將 之	P29・P30
私と荒木村重研究……	研 究 生 徳 永 悦 子	P31
情報学科新入生歓迎会兼懇親会を開催……	情 報 3 年 石 丸 敏 美	P32
情報学科に入学して……	情 報 1 年 鈴 木 好 夫	P33
《ざっきちょうから》 ……	研 究 生 金 森 扶 美 子	P34
ぼやき川柳……	研 究 生 木 下 俊 造	P35左
〈クラブ・同好会活動報告〉 けやき遊歩クラブ		P35右
けやきテニスクラブ・けやき軽音楽クラブ		P36
けやき朗読倶楽部・けやきゴルフ同好会		P37
けやきカラオケクラブ・けやき編集クラブ		P38
<社会連携部 生涯学習センターからのお知らせ> ……		P39
<編集後記、原稿募集案内> ……	編 集 ク ラ ブ	P40

シニア専修コースでご指導を頂く先生方から メッセージ（おもに後期）

(敬称は省略、順序はあいうえお)

1 段目	名前	2 段目	写真	3 段目	役職名
4 段目	担当科目	5 段目	メッセージ		
国際文化学科				情報学科	
堀田 あゆみ		吉本 康子		尾崎 誠	
					
武蔵野美術大学非常勤講師		本学非常勤講師		園田学園女子大学 情報教育センター長	
文化人類学入門（後期） 現代モンゴル社会論（後期）		アジア太平洋文化論（後期）		基礎情報	
留学や調査でモンゴルにお世話になって四半世紀になります。文化人類学入門では、モンゴルの具体的な事例を通して文化の多様さと面白さについて、現代モンゴル社会論では、社会主義的近代化と遊牧生活についてお話させていただきます。		この授業では東南アジア、主にベトナムの事例を紹介しながら、文化人類学が扱ってきた民族・家族・親族、宗教などのテーマについて考えます。異文化への眼差しを通して、日本の社会や文化も見つめ直してみましょう。		この授業では、前期の内容を基にWord, Excel, PowerPointの基礎を習得する。できるだけ丁寧に進めていくため、安心して授業に参加して頂きたい。	
情報学科		共通選択科目			
堀田 博史		宮城 洋一郎			
					
本学人間教育学部 教授		種智院大学特任教授 皇學館大学名誉教授			
インターネット活用（後期）		仏教の歴史と思想（後期）			
2024年夏、学校教育での生成AI活用の是非が問われましたが、今では授業での活用が試行されています。テクノロジーの進化は早く、私達も最新のテクノロジーに興味を持ち、その可能性を考える時間を持つ必要があります。		今回は「京都の古寺：古代から中世へ」をテーマとしています。難解な仏教思想について寺院参詣をとおして読み解いていきます。史料や文化財を紹介しながら、わかりやすく講義を進めています。これを機会に、仏教への理解を深めていただければと思います。		「けやきアベニュー」から見た 「ドミトリーけやき」 2024. 11. 29	

「新世界」の周辺に拡がる 移民の街を歩く

アジア太平洋文化論(後期) 吉本 康子

私は 15 年以上、「アジア太平洋文化論」の授業を担当させていただいています。授業では主に東南アジアの歴史、社会、文化について、なかでも学生時代からフィールドワークを継続して行なっているベトナムの事例を多く紹介させていただいています。毎年、「移民・難民」というテーマを設定し、日本のベトナム系移民について知っている範囲でお話ししてきました。この 15 年の間にベトナムの人や彼らが経営する店が増え、私が住んでいる大阪にもベトナムの人々の集住地区がみられるようになりました。今回はその一つ、大阪の「新世界」周辺の街並みや店を紹介したいと思います。

皆さんもご存知の通り、日本政府が打ち出した「留学生 30 万人計画」による留学ビザの緩和や「外国人技能実習生制度」の制度化などによって、この 10 年ほどの間に在留外国人の人口が急増しました。なかでも在留ベトナム人の人口増加は顕著で、法務省の統計資料によると、2003 年には約 2 万 4 千人、2013 年には約 6 万 2 千人だった人口が、2023 年には約 52 万人にまで達しています。大阪市には 2023 年時点で約 2 万 5 千人のベトナムの人々が暮らしており、生野区 (3,316 人)、西成区 (3,212 人)、浪速区 (2,172 人) の人口が特に多くなっています。

新世界といえば通天閣やジャンジャン横丁などが有名ですが、近年は隣接する「釜ヶ崎」と呼ばれるエリアにバックパッカーが増え、中国、ベトナムの人々が経営する店舗が急増していることでも知られます。今年の 3 月、私はジャンジャン横丁を南下し、数年ぶりに釜ヶ崎エリアのアーケード商店街を歩いてみましたが、商店街の入り口から奥まで下町風の「カラオケ居酒屋」なるお店が何十件も密集していてとても驚きました。外からもよく見えるガラス戸越しに

店内を覗くと、どの店も若い女性たちがカウンターに立ち、客と思われる人たちが座っているのがみえました。聞くと、これらの多くは空店舗を購入した中国の人たちが経営する店で、10 年ほど前は十数軒だったのが、この数年で 100 軒以上にまで増えたそうです。昨年末には近くに関帝廟も建てられたとのことでした。

釜ヶ崎エリアの西端、四つ橋筋にある花園町駅周辺に行くと、金星紅旗と呼ばれるベトナムの国旗や *Nhật Phong Quán*、*Bắc Giang Quán* などベトナム語の看板を掲げる食材店や料理店も目につきます。ここから更に西側には、昔ながらの雰囲気が残る鶴見橋商店街が延びています。とはいえそこにも移民の店が増えています。もともと在日コリアンの人々が営む韓国食材やホルモン店など多い商店街でしたが、この 10 年ほどで中国やベトナム、ネパールの国旗を掲げる店も目立つようになりました。今年 1 月にオープンしたばかりというベトナム料理店が入る店舗は、以前は地元の常連客が多そうな昭和の純喫茶風の喫茶店でした。ホールの女性に話を聞くと、現在の客の大半はベトナム人。隣の豚肉専門精肉店のベトナム人店主も、肉を買う客の多くは近隣に住んでいるベトナム人だと教えてくれました。釜ヶ崎エリアを入れると近くに 10 軒ほどのベトナム料理店や食材店が確認できますが、その多くはベトナム人客だけで経営が成り立っているのかもしれませんが、15 年前には考えられなかったことです。

先のホールの女性は、研修生として 3 年間日本に滞在した後、再び留学生として来日したそうです。子供をベトナムに残し、夫婦でアルバイトしながら暮らす日々。安定したら子供も呼び寄せたい、と話してくれました。精肉店の店主も妻子をベトナムにおいて働いているとのこと。現在は中国人オーナーの物件で営業しているそうですが、いずれお金を貯めて空き店舗を購入し、開業するのかもしれません。

商店街の近くには 2 年前にインドネシア人ムスリムによってモスクも建てられています。ディープな大阪のイメージが強い新世界周辺は、移民の街としての姿も見せ始めているのです。

「けやき便り」編集クラブは、普段の講義とは少し異なった角度から、先生の横顔を皆さまにお伝え出来たらと願い、今号では情報学科の山本先生と国際文化学科の堀田先生にインタビューさせていただきました。両先生とも、お忙しいなか、応じていただきまして、ありがとうございました。

山本先生にインタビュー (誌上)

情報学科 山本^{ひさし}恒 先生



■ 先生のご趣味は

67歳で園田を退職して、さあ一新しい何かに挑戦しようと思ったのですが、お恥ずかしい話ですが、特に趣味もなくコンピュータの世界にどっぷりはまっていた自分に気づきました。

悩んだ末にせめて自然を相手にということで、山奥に小さな庭のついた古屋を手に入れて家庭菜園を楽しむようになりました。野菜は勝手に生えてくるものではないので世話が大変ですが、家内と二人分の収穫があればいいので高くつく野菜になっていますが満足しています。

■ 先生と情報学とのこれまでのお付き合いはどのようなものでしたでしょうか？

大学での専門は化学で教員免許も高等学校の理科で、卒業して15年間は兵庫の県立高校で化学を教えていました。それがどこかで道を間違ったようでパソコンが登場してからプログラミングに興味を持ち情報の世界に片足を投入してしまいました。当時のパソコンはアプリケーションがほとんどなく、何かをしようと思うと自分でプログラムしてアプリケーションを作らなくてはなりませんでした。

その後大型の汎用コンピュータとも出会い、両足を情報の世界に入れてしまう羽目になりました。片方は化学の世界に残しておけば違う人生があったのかもしれませんが。

■ シニアを教えて、感じられたことや印象に残ったことをお教えてください。

自ら決心して学ぼうとされているので授業の準備などに手を抜くことができませんが、本音でお付き合いできるので授業はとても楽しくさせていただいています。欲を言えば私からの一方的な情報の提供になりがちで、もっと皆さんからの反応が頂けると嬉しいです。でもこれは私の方に問題があるので工夫したいと思っています。ぜひ皆さまもご協力ください。

■ コロナ禍では、オンライン講座「マナビ」で、プログラムの基礎など、有意義な講義を行っていただきました。当時の経験、ご苦労などお聞かせください。

オンライン学習では、個別と共同の両方の学習形態で授業を進めました。個別では受け身で学ぶのではなく自ら学ばなくては前に一步も進めないことを、共同では個々で学んだからこそ皆で一緒に学ぶ楽しさや意義を実感していただけたと思います。

コロナ禍ということもあったからできたのかもしれませんが皆さんは実にたくさんの時間をプログラミングの学習に費やされたと思います。教室で一斉授業を行うよりはるかに実のある授業になりました。コロナのお陰でという不謹慎かもしれませんが、私が理想とする学習形態で授業を提供することができ大変うれしかった

です。

シニアの授業もオンラインとリアルのハイブリッドの学習形態で行われるようになればいいなと思っています。

■ 今後の情報社会において、シニアがどのように情報技術と向き合ったらよいか、お考えをお聞かせください。

AI の登場で情報社会の次の社会「超スマート社会」が急速に訪れつつあります。ついていけないというのが私も含めたシニアの思いなのかもしれません。でも横から見たり想像したりするだけでなく実際にその社会に「住んでみる」

ことが大切です。

この社会は言葉だけでは説明もできず理解もできない社会なのかもしれません。例えば「りんご」とはどのようなものか言葉で説明してもらっても想像することしかできず、実際に食べてみて初めてこれが「りんご」だとわかります。

新しい社会に住むには新しい「情報技術」が必要ですが少しずつ挑戦して、隅っこでもいいから住んでみましょう。

また、皆さんは一人ではなく仲間がおられるのですから、ともに教え合い励まし体験しながら新しい社会に向き合ってください。



モンゴルでのフィールドワークの様子（左）

堀田先生にインタビュー

国際文化学科・文化人類学
堀田 あゆみ 先生

☆ 堀田先生のプロフィール

- ・1980年大阪泉州生まれ。
- ・小学生の頃に「モンゴル遊牧民」に夢中に。
- ・高校卒業後にモンゴル国へ留学。
- ・モンゴル人のおじさんに未熟さを叱咤されたことがきっかけで日本へ戻り大学、大学院博士課程へ。博士（学術）。
- ・現在は自宅の「ゲル」に住みながら、モンゴルでのフィールドワークと研究成果の授業への還元に取り組む。

■ 先生にとって、モンゴル、フィールドワーク、文化人類学とは何でしょうか。

モンゴルは、この地球上にモンゴルがあることが嬉しくてたまらないくらい好きです。

私にとってのフィールドワークはモンゴルの友人や知人に会いに行くような感じです。

そして私にとっての文化人類学は、大好きなモンゴルの人々の魅力を「学術的な“ふりかけ”」をかけて皆さんにお伝えする事と思っています。

■ シニアを教えて、感じられることは。

シニアの皆さんの「学習意欲の高さ」、これに尽きます。若い人には、どう伝えるかで気を遣うことがありますが、シニアの皆さんは人生経験豊かで、懐の広さがあり、どんなボールを投げても受け止めてくれます。

■ 文化人類学を通して学んで欲しいこととはどのようなことでしょうか。

わたしたちはややもすると、“関心”のベクトルが自分にばかり向きがちです。

自分を知り自分らしくあるためにも、他者という存在との関わりが必要で欠かせません。他者への関心を持ち続けることの重要性、他者との関係性のあり方についてのヒントを文化人類学は提供してくれると思います。

■ 核家族化が進んだ日本ですが、モンゴルの家族はどうでしょうか。

モンゴルでは、赤ちゃんが泣いていたらみんなで見守りますし、高齢で困っている人がいればみんなで助けます。人的ネットワークが重要で、人が資源です。そもそも人間は一人で生きるものではないと思っているので、一人きりとか、孤独死とかは考えられません。

■ 食事についてお聞かせください。野菜をあまり食べないモンゴルの人たちは長生きできるのでしょうか。

そもそも長生きをすることがそんなに意味があることでしょうか？食事については、遊牧民は肉食系ですが、草を食む家畜を食べていますから問題ありません。

■ 「ゲル」に住んでおられるのですか？

遊牧民の友人に選んでもらい、モンゴルから買ってきた“ゲル”を自宅にしています。ただゲルは羊の毛で作ったフェルトをかぶせて作られていて、日本は湿気



居間兼客間としてゲルを活用
（「ほとんど0円大学」
ウェブサイトより）

が多いため、維持が難しいという問題があります。日本の気候に合わせて快適なゲルにして、“人が集まる場”としてのゲルの過ごしやすさ

を皆さんにお伝えできればと思っています。

■ モンゴルのゲルの様子についてもう少し教えてください。

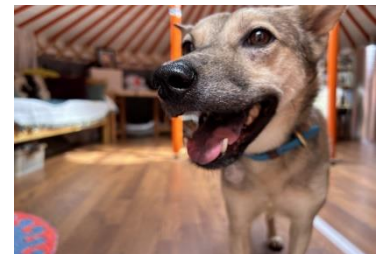
一つのゲルは一国のようなもので、夫は外務大臣、妻は内務大臣のような役割です。外部に対する危機管理能力が高くないと生きていけないので、いつも外の世界に目を向けて情報収集に努め、交渉能力はとても高いです。

遊牧民のゲルは一見するとモノが少なく見えるかもしれませんが、でも、実はそれも所有物の情報を管理するために、モノが見えないように配置されているからなんです。

交渉によってモノが世帯間を移動する遊牧社会においては、ゲルは情報戦の舞台でもあります。

■ 先生のご趣味などございましたら。

野生と家畜の境界線に興味があります。3年ほど前、山で野生のまま育ったという保護犬を見てすっかり気に入って、1年間保護施設に通って人に馴らす訓練をさせてもらいました。当初はまったく無表情の野犬でした



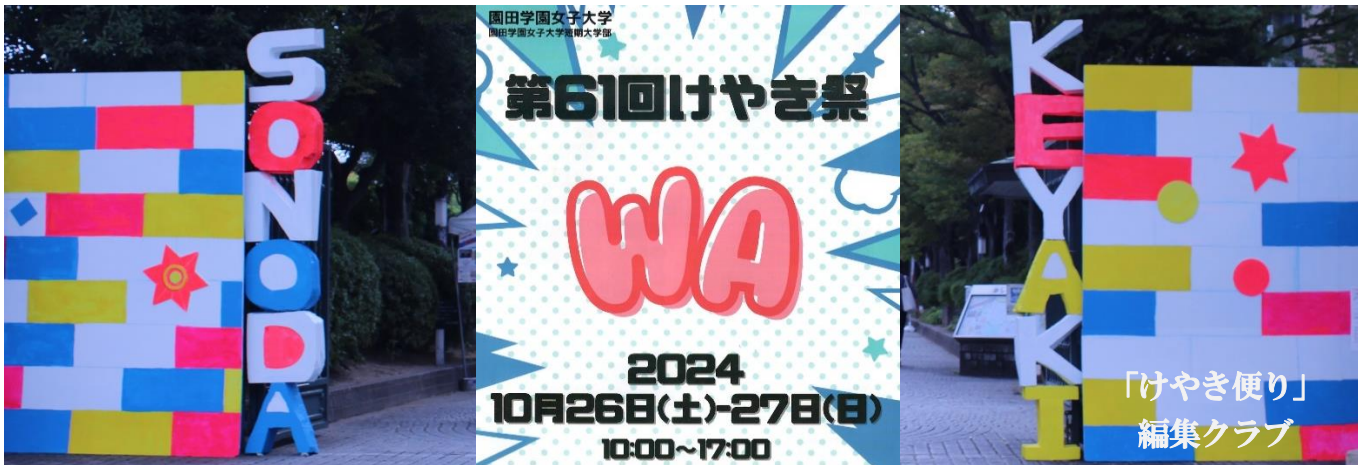
「野生育ちの愛犬」

が、今は優しい顔つきになり、人間の指示も覚え、ゲルと一緒に仲良く暮らしています。

■ ライフワークやこれからの過ごし方などお聞かせください。

これからも、「生活」と「研究」、そして人生をかけて愛している「モンゴル」を、それぞれ切り分けずに、地続きのなかで生きて行きたいと思っています。

（取材：「けやき便り」編集クラブ）



10 月 26 日と 27 日開催の 61 回目の「けやき祭」のテーマは「WA」。シニア専修コースからは、軽音楽クラブと朗読倶楽部の発表がありました。本学の学生さんたちとともにシニア専修コースの皆さんも楽しんで参加しました。

けやき軽音楽クラブ

学生軽音楽部と共演

初日に「THE GAKU-YOU」は、野外ステージで園田学園女子大学の軽音楽部とのコラボの 3 曲を含めて 5 曲演奏しました。2 日目も第一音楽室で、学生軽音楽部とのコラボ曲「タッチ」など 3 曲を含め、10 曲の演奏をしました。

2 日目の第 1 部は、学生軽音楽部の 4 人が、NHK 連続テレビ小説「朝ドラ」メロデーを熱演しました。学生メンバーと THE GAKU-YOU とのコラボで、岩崎良美の「タッチ」、荒井由実の「卒業写真」などの演奏がありました。

第 2 部は、THE GAKU-YOU による演奏で、今年の初演の曲は、「いちご白書をもう一度」、「いつまでもいつまでも」などの 3 曲。他に「亜麻色の髪の乙女」や「学生時代」の演奏を 7 人で演奏しました。心を合わせた演奏とともに、MC 担当、プロジェクター担当、ビデオカメラ担当などの支援もありチームの力と連携が伝わりました。また、学生の親御さんやシニア専修コースの皆さんから、熱い声援が送られました。



けやき朗読倶楽部

ユーモアある『源氏物語』の朗読



27 日は、第一音楽室で朗読倶楽部の発表がありました。演目の最初は、田辺聖子作『新・私本源氏春のめざめは紫の巻』の 4 場面の朗読。最初の「春のめざめは紫の巻」は、源氏最愛の 14 歳の紫に翻弄される源氏との思いのズレに会場の笑いを呼びました。また、「六条ろくでなしの巻」では、源氏より 6 歳年上の情熱的な六条の報われない恋心などがユーモアたっぷりに朗読されました。

ソロ朗読では、高齢の母を気遣う息子たちが、FAX を贈り、届いたのは白紙だったという、高橋源一郎作



『白紙』など 4 作品の朗読がありました。どの作品もシニアにとって心に響く朗読でした。

松山先生と行く 長崎の旅ー歴史と今を訪ねてー

研究生 小笠原 昭博

9 月 11 日～13 日の間で、松山先生以下総勢 17 名で、下記の旅程で長崎に行ってきました。
初日：長崎空港⇒大村市歴史資料館⇒浦上天主堂⇒平和公園・原爆資料館⇒稲佐山展望台。
2 日目：長崎歴史文化博物館⇒サント・ドミンゴ教会跡史料館⇒長崎公園・諏訪神社⇒出島和蘭商館跡⇒自由行動（グラバー園・他）。
3 日目：長崎県庁（長崎奉行所西役所跡）⇒日本二十六聖人記念館⇒長崎市役所（19 階展望フロア）⇒シーボルト記念館⇒長崎空港。

先生の授業で、幕府勘定奉行川路聖謨の「長崎日記」を読解するなかで、露国プチャーチンとの交渉の場となり、また東のローマと言われたポルトガル（イエズス会）領時代の長崎を訪れ、近世～幕末の長崎を学ぼうというのがテーマとなりましたが、訪れてみると全く予想していなかった歴史上の事実と直面し圧倒された毎日でした。

戦国時代末期から江戸時代と言えば、秀吉の天下統一・関ヶ原の戦い・江戸幕府の成立、幕末から明治と言えば、ペリーやプチャーチンの来航、戊辰戦争、明治維新が浮かんできますが、同時並行的に戦国末期から江戸時代にかけて、長崎を舞台に、西坂での日本二十六聖人の磔刑（1597 年）に始まり、同じ西坂での宣教師 55 人の磔刑（1622 年）、島原・天草一揆でのキリシタン 3 万 7 千人の惨殺（1638 年）、キリスト教を棄教した大村藩主大村喜前による郡村のキリシタン 603 人の捕縛・406 人の処刑（1657 年）。更に明治に入っても浦上村のキリシタン 3394 人が流罪となり拷問により 662 人が命を奪われていた（1867 年）ことを、今回長崎を訪れて話を聞いて初めて知りました。

日本二十六聖人記念館の学芸員の方の説明では、バテレン追放令（1587 年）を出した秀吉の

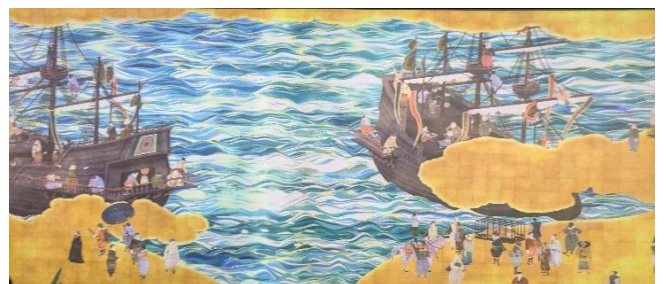
命を受けた石田三成によって畿内の宣教師・信者 26 名が長崎の西坂で磔刑（1597 年）に処せられ、アジアで最初の殉教となったとのこと。更に、幕府の禁教令（1614 年）により西坂で宣教師 55 人が磔刑にされた元和の大殉教（1622 年）が起こり、幕府によるキリシタン弾圧は広く欧州に知れ渡り、「ガリバー旅行記」にも「踏み絵」が描かれているとのことでした。

1873 年（明治 6 年）禁教令廃止により、流罪から生き残り浦上村に帰村した人々は浦上天主堂の建設を始めたが、資金難のため完成したのは 1914 年（大正 3 年）。しかし、1945 年 8 月 9 日の原爆により倒壊。被爆像は涙に暮れている様で、思わず手を合わせずにはいられませんでした。



浦上天主堂の被爆像

大村市歴史資料館では、長崎の成り立ちについて、学芸員の方から、日本初のキリシタン大名大村純忠（2 万 7 千石）が長崎・茂木をイエズス会に寄進（1580 年）し、寺社を壊し教会を建ててポルトガルとの貿易港としたことから始まったとの説明がありました。



大村市歴史資料館：南蛮人来朝之図

長崎歴史文化博物館では、学芸員の方から、幕府の禁教令以降、長崎では教会が破壊（例・サント・ドミンゴ教会跡）され、代わって幕府の手厚い保護により多くの寺社が建てられ、諏訪神社では幕府の庇護の下「長崎くんち」が始まり（1634年）現在まで続いているとの説明がありました。「踏み絵」が正月の年中行事となり幕府のキリシタン取締まりは厳重であったが、長崎は唐船等による貿易で栄えて行ったとのことでした。長崎歴史文化博物館には、輸出品として銅の延べ棒・波佐見焼の陶器・螺鈿細工等が展示されており、長崎の社会は政治・宗教的には厳しい監視社会であったが、経済的には貿易を通して当時としては豊かな都市であったとの印象を受けました。因みに、長崎奉行の年俸は現在価値で8000万円とのこと。

また、長崎には出島を通して西洋医学・科学等がもたらされ、多くの若者が学びに訪れたとのこと。特にシーボルトは鳴滝塾を設けて、多くの日本人の弟子と西洋医学での手術を一緒に実践し、文献教育ではなく実際に行うことを重視していたことに感心しました。

破壊と再生が繰り返されてきた長崎ですが、長崎市役所 19 階の展望フロアからは、市街地を取り囲む山々の頂上まで家々が連なり、眼下

は大小様々なビルが林立し、路面電車や車が忙しく行きかっています。遠く望めば大河の様に穏やかな長崎湾に女神大橋が架かり、

昔日の辛い歴史の面影は微塵もなく、今日の繁栄を謳歌し更に発展し続けている様でした。そして稲佐山からの夜景は、宝石を散りばめたごとく眩しく輝いていました。

今回長崎の旅を担当させて頂きましたが、世話人の方々の多

くのご支援、参加頂いた方々のご尽力により、炎天下の歩きや急な上り下り（諏訪神社・日本二十六聖人記念館他）を克服し、全員無事に旅を終えることができましたこと、皆様に感謝の気持ちで一杯でございます。

松山先生には、今回の「長崎－歴史と今を訪ねて－」の旅をはじめ、2017年「出雲国」の旅（15名）、2018年「遠野物語」の旅（22名）、2019年「米沢藩かてもの」の旅（11名）、コロナで奄美大島、佐渡島は中止となりましたが、2023年「北海道－アイヌを訪ねて－」の旅（18名）と数々の研修の旅に連れて行って頂きました。それぞれの旅で、参加した方々と交友を深めながら、現地を訪れ、新しい発見に出合い、一緒に学ぶことの楽しさと面白さを十分にお教えいただき、学園生活での最高の思い出となりました。

松山先生、本当に有難うございました。



山下信行さん作成のフォトブック



稲佐山展望台にて

松山先生と行く長崎の旅 – 報告会より –

10月22日(火)、松山先生を囲んで長崎の報告会を開催しましたので、その時出された旅の思い出等につき紹介いたします。

◆朝風や綴る歴史や琴の湖 (大村湾の別名)
きのこ雲あの日も今日も汗しとど(平和公園)
川路さま魂繋ぐ出島バラ (西洋から持ち込まれた花・カーネーション・チューリップ・パンジー)
思案橋扇子片手に千鳥足 (長崎の夜)
(研究生 赤澤 佳寿子)

◆登り来し色なき風や天主堂 (浦上天主堂)
(研究生 足立 信子)

◆稲佐山から見た長崎は綺麗でした。キラキラ光る海、青い空、出会った人たちは優しく親切でした。過去の様々な出来事を考えると涙がでてきました。
(研究生 今池 純江)

◆長崎には転勤で5年間住んでいました。異国情緒あふれる美しい街でした。その時に体験した二つの出来事が思い出されました。

1981年2月26日のローマ法王ヨハネ・パウロ2世の長崎訪問。その日は温暖な土地に大雪が降りました。とても厳かで神聖な雰囲気でした。私は雪の坂道で転んで痛い思いをしました。翌1982年7月23日には長崎大水害が発生しました。あっという間に1m先も見えない大雨と雷。299人ものが犠牲になりました。有名なめがね橋も流されて街の風景も変わりました。今回は松山先生の授業で学んで訪れましたので長崎再発見の旅が出来ました。

(研究生 田中 眞知子)

◆旅の3日目、快眠を得て(申し合わせたように)早起きをした同室泊の2人は朝食前の1時間を『唐人屋敷跡』の散策に充てました。幽閑の身であった人達の、日々の営みや伝統行事また祈りの場がレトロな雰囲気を醸しつつ今も息づいています。前日の『出島』との違いを大きく感じたのは…空堀こそ在りましたが水面のないことだったのでしょうか…。1匹の野良猫が

私達の前を横切って行きました。

(研究生 渡邊 ひろ美)

◆西坂の子供達

長崎駅前から歩道橋を渡り、西坂の急斜面を登りきると広い高台に出ました。ここは『日本二十六聖人』が磔にされた所。26人の等身大の聖人像が祈りを捧げながら我々を迎えてくれました。その中に混じって3人の子供達がいました。哀れでなりませんでした。

旅の帰路、ふと、さだまさしの「精霊流し」のメロディーが聞こえてきました。

(研究生 小笠原 昭博)

◆鳴滝塾への道

出島の前を流れる中島川を遡り、その支流沿いの小道を登った森の斜面に『シーボルト記念館』がひっそりと建ち、その傍らに『鳴滝塾跡地』がありました。この『鳴滝塾』では多くの若者たちが、西洋医学、自然科学などいわゆる蘭学を学び、蘭方医になる者、私塾を開く者などを輩出してその後の社会に大きな影響を与えています。私たちの歩いた同じ道を幕末の若者達が新しい世界へと夢と希望を抱いて歩いていた景色を想い、感慨深いものがありました。

(研究生 井上 聖明)

◆潜伏キリシタンの歴史に興味のあった私は以前にも熊本天草の崎津教会を訪れ、今年は長崎五島の教会群を見学してきました。そして今回の長崎研修旅行で『大村市歴史資料館』『長崎歴史文化博物館』『日本二十六聖人記念館』を見学し、学芸員の方々からの説明で長崎の潜伏キリシタンたちの苦難の歴史を知り、幾多の迫害にも耐えさせた彼らの“信仰”とは一体どういうものなのかと改めて考えさせられました。

また一方で戦国末期の一時期にイエズス会の所領となっていた長崎では仏教などの他の宗教が逆にキリスト教から排斥されていたという事実なども知り、宗教の多面性についても考えさせられる機会になりました。

(国際文化学科2年 山下 信行)

尼崎運河クルーズを楽しむ

研究生 高山 純子

尼崎市は、臨海部の工業化により全国有数の工業都市として発展したが、工場の地下水のくみ上げが原因で地盤沈下が発生し、台風のたびに大きな被害が発生していた。

その対策として、運河の物流機能を維持しながら高潮や洪水などの浸水被害からまちを守るための閘門（こうもん）式防波堤・尼ロックが昭和30(1955)年に完成した。「パナマ運河式(両開き式)」が採用されており、その大きさは日本最大級である。

閘門とは2つの水門を交互に開閉することで海(水位が高い)と運河(水位が低い)の水位を調整し、海水が運河に流れ込まないようにしながら船が通れるようになっている水門のことである。

尼ロックは今年公開の映画「あまろっく」で注目され、運河クルーズで尼ロックを船で通ることができる
と知って体験してみることにした。

武庫川の一角から乗船して尼ロックを目指した。数組のグループが乗っていたがそのうちの一人は関東から来た人であった。映画を見て尼ロックに興味を持ったのだろうか。

沿岸の工場群や物流センターを見ながら尼ロックの入り口に到着した。道路のように分離帯を挟んで水門が横2列に並び、右側通行なのだそう。信号機に従って通行し、上部のコン



2列に並ぶ尼ロック



尼ロック通過

トロールセンターで制御しているとのことだ。
水門が開いて尼ロックの中に入る。潮の干満差の少ない日だとは聞いていたが、船長さんによるとそれでも海と運河の水位の差は50cmはあるということであった。

尼ロックを出て運河へ向かった。途中、桜並木が見える場所もあり、お花見クルーズもいいかもしれない。



出口側へ向かう



であい橋

いくつかの橋の下を通過して「であい橋」へ。「であい橋」は三叉路で、ここで運河が三方に分れ三叉路の中央を示すモニュメントがある。

その後、淀川方面へ足を延ばしてお城のような舞洲のゴミ処理施設や建設中の大阪・関西万博の会場などを見ることができた。遠くに明石海峡大橋や淡路島、梅田のビル群も見える。

そしてもう一度、行きとは反対側の尼ロックを通って戻り、クルーズは終了したのである。

運河クルーズには、魚釣りやバーベキューと組み合わせたコースのほか、ナイトクルーズ(工場夜景が見られる)もある。釣った魚でバーベキューをして、余った魚の食べられるところはこども食堂へ、それ以外の部分は最終的には肥料になって捨てる場所はひとつもない。そうい



尼ロックへ入る大型船

う取り組みをしているとの運航会社の方のお話であった。

当日は猛暑も治まってクルーズに適した天候となり、ガイドさんの解説も軽妙で心地よかったので、機会があればまた違う季節に行ってみたい。(運河クルーズは4月～10月)

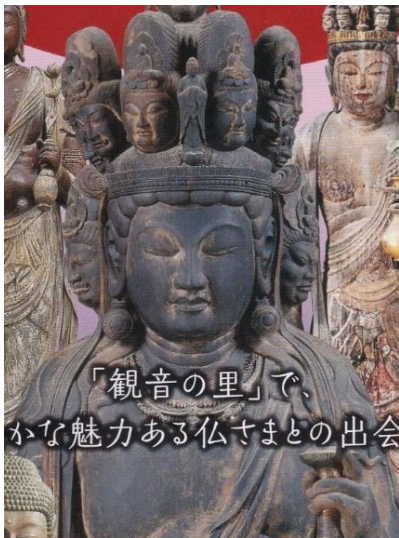
※ 参考文献：市報あまがさき 2024年4月号

遊歩クラブ 学園バス利用による 琵琶湖一周の旅

研究生 川田 郁夫

遊歩クラブでは、約5年ぶりに学園バス利用による例会を開催いたしました。行き場所は、琵琶湖一周です。実施日は9月10日(火)で、参加者は39名でした。

旅程は学園を出てから名神高速に入り米原から北陸道に入り小谷城スマート I.C.を降りて、長浜市高月町渡岸寺観音堂に安置された国宝十一面観世音菩薩像の拝観、奥琵琶湖からマキノ町メタセコイア並木を通過し、マキノピクランドで近江の郷土料理「びわ膳」の昼食、湖に浮かぶ鳥居「白鬚神社」を車窓から参拝し、比叡山の麓に鎮座する日吉大社に参拝し、京都東ICから名神高速に入り学園に戻るコースです。



最初に訪れた滋賀県長浜市高月町は「観音の里」と呼ばれ、多数の観音堂がありますが、今回は国宝指定の十一面観世音菩薩像が安置された渡岸寺観音堂を参拝いたしました。

観音堂から琵琶湖の北端を経由して湖西に進み、県道小荒路牧野沢線にはいりました。この県道には延長約2.4kmにわたりメタセコイアが約500本植えられ、マキノ高原へのアプローチ道として高原らしい景観を形成しています。春の芽吹き・新緑、夏の深緑、秋の紅葉、冬の裸樹・雪花と四季折々に美しい景観は、遠景となる野坂山地の山々とも調和し、訪れる人々を魅了するところです。今回は夏の深緑が素晴らしかったです。



メタセコイア並木道に沿って、農業公園マキノピクランドがあります。そこで昼食をとりました。



渡岸寺観音堂山門にて



なみ木食堂ツバメにて昼食

メタセコイヤ並木の散策ほかに、地元農家が栽培した農産物を販売している農産物直売所や市内特産のアドベリーを使った商品や高島ちぢみを販売しているお土産物売り場やジェラードの販売もあり皆さん購入されておられました。



学園バス前で記念撮影

マキノピックランドから湖西を南に下り、JR近江高島駅の南約2kmに白鬚神社があります。湖中に朱塗りの大鳥居があり、国道161号線をはさんで社殿が立っており、「白鬚さん」「明神さん」の名で広く親しまれ、また、「近江の厳島（いつくしま）」とも呼ばれています。



白鬚神社鳥居

白鬚神社から湖西道路に入りましたが、事故渋滞のため、道の駅妹子の里での休憩は中止とし日吉大社へ直行しました。



日吉大社西本宮入口山門

日吉大社は神代の昔より比叡山の麓に鎮座する全国に約3800社ある日吉・日枝・山王神社の総本宮です。西本宮と東本宮を中心とする広大な境内には、常に清らかな水音が響いており、その大部分が国の史跡に指定されています。国宝の本殿と数々の重要文化財の建物と美しい木々の景色を見ながら清々しくお参りしました。

日吉大社参拝後京都東ICから名神高速に入り尼崎に戻り、JR尼崎駅および阪急塚口駅経由で学園に戻り行程約320kmのバス旅行は無事終了いたしました。

今年は終わるところを知らずの猛暑が続きましたが、この日も真っ青な夏空のもと元気に皆さん出発されました。外は暑くてもバスの車内は快適でした。訪れたところは私たち以外ほかの観光客はまばらでゆったり散策することができました。ほぼ予定通り実施できたと思っております。運転手の池田さんには安全運転・定時運行に努めてもらい感謝申し上げます。

今回、初めてのケースとして車内の退屈さを少しでも和らげるべくビンゴゲームで楽しんでもらいました。意外と盛り上がったのではないかと思います。たいした景品ではありませんでしたが景品をゲットされた方おめでとうございます。

また、自己紹介を兼ねて皆さんから近況報告および遊歩クラブで行ってみたいところ、要望等を披露してもらいました。その結果はおおよそ下記の通りでした。

- ・バス旅行の頻度増
- ・一乗谷、恐竜博等の福井方面
- ・伊勢神宮
- ・石見銀山
- ・淡路島
- ・宿場町など古い建物・街並みのあるところ
- ・自然・花が満喫できるところ
- ・軽ハイキング

改めてバス旅行に人気があることがわかりました。学園バスは学生の利用が優先されるため希望通りに利用できるか難しいところがありますが、頻度を増やすことで検討したいと思います。

タイからマレーシアへの周遊旅行

情報学科 1 年 十河 和夫

2024 年 8 月、タイのバンコクからタイ南部の町、ソンクラーク・パッターニー・ナラーティワートを経てタイ南端の寂れた港町タクバイへ。



タイ南部に位置するこの町は外務省からキッパリと「渡航は止めてください」と発令されている地域にある。しかし、どの町も普通の田舎町

だった。港町タクバイから船で国境を越えマレーシアのトゥンパト。ここから、乗り鉄ファンに人気があるマレー鉄道東海岸線に乗車して KL(クアラルンプール)まで行くという計画で旅行してきた。

マレー鉄道東海岸線に乗車する

旅の目的である、ジャングル・トレイン (マレー鉄道東海岸線) に乗車。この東海岸線は海岸線といいながらマレー半島の中央を突っ走って西海岸に行く。コタバルに近いトゥンパトという町が始発駅で西海岸のダマスで KL 西海岸線と繋がる。KL 東海岸線の目玉はトゥンパトからジョホールバルまでの夜行寝台列車だ。しかし、昼間走行しているのは普通列車が途中の駅を経由しての 4 本しかない。乗り鉄は夜行列車に乗るが僕は普通列車で旅を続けた。

理由は夜間にジャングルを走行したら、風景が見えないからだ。今回の旅はジャングルを満喫するためでもある。そこで、普通列車の終着駅である谿間 (けいかん) の村ダボンで一泊。次の日マレー半島の真ん中にある町グアムサンで一泊。KL に近い街クアラリピスで一泊。クアラリピスから KL はバスでという計画を立てた。

谿間の村ダボン

ダボンの町には 13:35 に時間通りに到着した。駅の造りは開放的なホームがあるだけだ。コタバルからダボンまで 140km, 3 時間の列車運賃が 3 RM (約 120 円)。列車は快適で文句なし。それで 120 円! これではマレーシア鉄道は赤字だろう。それでも



運行しているのは社会制度を維持する為かも知れない。

ダボンは思った以上に田舎町だった。不安は一気に膨らむ。本当にホテルはあるのだろうか? 駅前の店の人にホテルと聞いたが首を傾げるだけだ。不安はアドバルーンのように膨らんだ。グーグルマップで見たホテルの名前を告げると、あの道を曲がって右に行ったらあるよと教えてくれた。

ホテル前に着いたら工事中だ。不安のアドバルーンは爆発寸前だ。躊躇したが、ドアを叩きマスターに一夜の宿を申し込んだ。マスターは、工事中で宿泊は無理だと突っぱねた。が、そこをなんとかと懇願した。実際、この宿を断られたら、コタバルへ戻るか深夜の夜行列車に乗るしかない。夜行列車は 23:30 この駅を出発する。それまで、駅で待つことなど不可能だ。ぼくは沢木耕太郎の事を思い浮かべた。彼はこうしたことを何回も経験したのだろう。本には書かれていないが、知らない土地を旅するとは、何があるかも知れない。危険と隣り合わせなのだ。でも、それを乗り越えてきた…。僕が黙っているのを見て、可哀想に思ったのか不憫に思った

のかマスターは一晩なら、それも使っていない部屋で汚いがそれでもよかったらと受け入れてくれた。

村の朝は早い。6 時に谿間に大音量のコーランが山々に木霊して響きわたった。村の人はこれで目覚めるのだろう。コーランで目覚めた僕は薄闇の外に出て、ジャランジャラン（散歩）する。近くのモスクは煌々と灯が灯り信者が、祈りの部屋で礼拝していた。霧から現れた男に頭を垂れると、笑顔で答えてくれた。

歩くうちに山から降りてきた雲は深い霧となって村を覆い、たちまちのうちに村の姿を霧がとぎした。

ジャングルの谷間の町にコーランが 響きわたりて静かな夜あけ

グアムサンでホテルが見つからない

いろいろと世話になったダボンを後にグアムサンを目指す。グアムサンは東海岸線の間点にある町だ。ダボンより人口は多くホテルも何件もある。一枚岩のような切断されたような切り立った山があって風光明媚な観光地でもある。



昨日と同じジャングルを走る列車に乗車。観光案内を読むとゴムの木が多いと書いてある。アメリカで自

動車産業が発展するとゴムの需要が増えて、この地にゴム農園が開拓されたのだ。

ダボン発 10:36 列車は 12:29 に無事到着した。観光案内にあるように、駅の目の前に一枚岩の小山が聳えていた。ゆっくり観光したいところをグッと堪えて、ホテル探しに向かう。駅は町の一番外れにあるようで、町に向かって緩やかな坂道を駆け上がる。Google マップで調べたホテルがすぐ見えた。2 軒ある。近い方のホテルで宿泊を申し込むと、「満員です」とあっさり拒

否された。まあこんなこともあると、すぐ隣のホテルに行き同じ事を言うところでも同じような回答が返ってきた。これはただごとではない。で、ホテルの人に他にホテルはありますかと懇願するように尋ねた。受付の人は曖昧な表情で近くのホテルを紹介してくれた。重い荷物を引き摺りながら次のホテルに向かう。明らかに三流ホテルだったがここでも満員だと宿泊を拒否される。誰でも分かるがこれは異常な事態なのだ。この町には空き部屋が無いのだ。何かは分からないが全てのホテルは満室なのだろう。僕はトボトボとバッグを引き摺り駅へと引き返した。駅はすでに人は引き払われて無人だった。「和夫どうする」という言葉が頭の上でグルグル回った。絶望的な気分で駅のベンチに座り、沢木耕太郎だったらどうするだろうか……、頭を抱えて考え込んだ。

「ホテルが無い」絶望的な状況である。しかし今までもトラブルがあれば誰かが助けてくれた。そう、旅人には旅の神様が見つめている。この時も見るとみかねたのか不審者と思ったのか駅員が声をかけてくれた。言葉は通じないがホテルという単語だけで困っていることを理解してくれた。彼女（駅員）は親切に自分の車で知り合いのホテルまで乗せてくれた。でも、そのホテルでさえ満員だった。街のホテルが全て塞がっている事の確認をした結果になっただけだった。また「どうする和夫」という言葉が呪文のように回る。そして突如閃いた。列車がダメならバスがあるのではと。彼女にバス停はあるかと聞くと、郊外にバス停があると答えが返ってきた。地獄で仏にあった気分だった。彼女にバス停まで送ってもらいあとは運にまかせた。

バス停でも、KL までのチケットが無いと言われたが、悲壮な形相だったのか哀れと思われたのか、なんとかチケットを発行してもらった。計画は大幅に変更することになるが、とにかく一步でも前に進まなければという思いで旅を続けた。その後も、いろいろなトラブルに遭遇したが、周りの人に助けられて無事日本に帰国することができた。

天の川銀河に思いを馳せて

国際文化学科 2 年 飯田 光治

私が生まれ育った福井県大野市は周りを山々に囲まれた盆地で、大野盆地と周辺の山地を総称して奥越（越前の奥という意味）と呼ばれています。市の北東部に広がる六呂師高原は日本有数の星空スポットとして知られ、夏が過ぎて涼しくなる秋は天体愛好家や星空デートで訪れるカップルでにぎわいます。美しい星空を楽しむには、晴れていること、空気が澄んでいること、高い建造物がなく空が開けていること、などの条件が必要とされています。奥越の冬はどんよりと曇った日が多いため、冬を除いた冷え込んだ夜に星空をきれいに観ることができます。

日本一美しい星空をお楽しみください



(出典: 大野市ホームページ)

中学 3 年生のある日、夕食を食べた後に友人と六呂師高原まで自転車を転がせ、高原の頂で 1 時間ほど満天の空を眺めました。空いっぱい星が輝きを放ち、まさに降ってくるようでした。キットを組み立てたトランジスタラジオを聴いていたところ、NHK の AM 放送からフォークグループ赤い鳥の「翼をください」が流れ、ボーカルの山本潤子さんの澄んだ歌声と星座が輝く空がマッチして幻想的な気分になったのが今でも記憶に残っています。

あれから数十年後の今年、知人から北海道の知床半島で天の川銀河がきれいに観えたと言われ、ちょうど沖縄への旅行を考えていたので、白い砂浜と手に届きそうな星が輝く空で有名な

波照間（はてるま）島を訪れることにしました。波照間島への移動は、石垣島から高速船に乗り波照間港まで 1 時間～1 時間 20 分で行くことができます。石垣島離島ターミナルのフェリー乗りの具志堅用高さんのモニュメントは旅人をやさしく迎えてくれているようでした。



波照間島は八重山諸島に位置する人口約 500 人の島で、有人島としては日本最南端にあたり、果てのウルマ（珊瑚礁）の島が名前の由来になったと言われています。

宿に荷物を預け、早速レンタサイクルで島内観光を楽しみました。日本最南端の碑までたどり着き、ハテルマブルーと呼ばれる青い海と白い砂浜に見とれました。



夜は今回の旅の目的の星空観測に出かけました。星空観測ツアーを運営している会社へ予約しておけば、宿までの送迎などすべておまかせなので便利です。

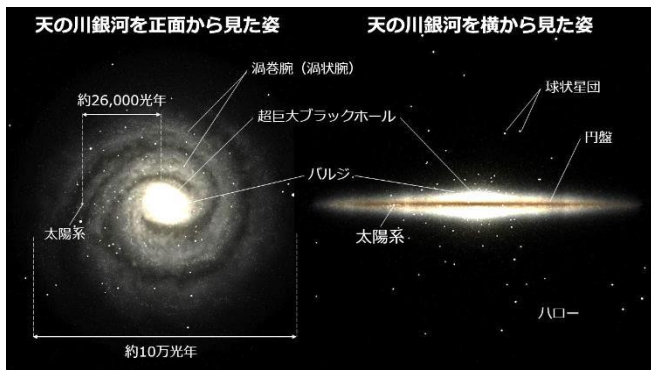


当日は曇り空でしたが天の川銀河がはっきりと観えました。



地球が属している太陽系は、天の川銀河の大集団の中にあります。天の川銀河は上から見ると渦を巻いていて、1 千億個もの恒星が集まっているといわれています。そして、地球から見ると夜空に浮かぶ白い川のように見えるので、天の川銀河と呼びます。

総合研究大学院大学のホームページにもありますが、近年の観測の結果、太陽系から天の川銀河の中心のブラックホールまでの距離は約 2 万 6 千光年、天の川銀河の端から端までは約 10 万光年とされています。これらはただの数字で、実際にどれほどの距離なのか実感がわきません。



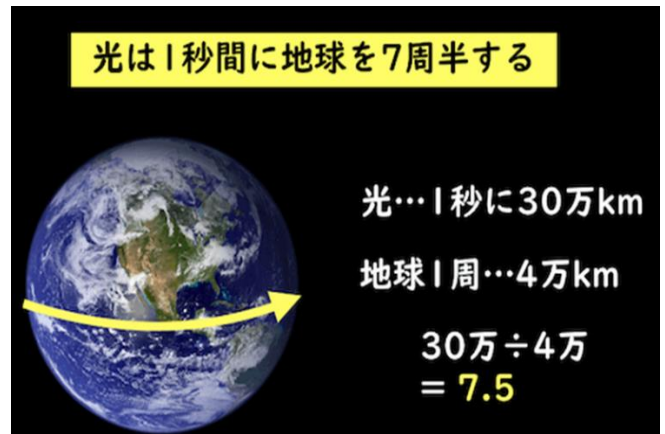
(出典：総合研究大学院大学ホームページ)

そこで地球から天の川銀河の中心までの宇宙空間を移動するのにどれくらいの時間がかかるのかを計算することにしました。

まずは光の速さを実感します。光の速度は秒速 30 万 km、地球 1 周は 4 万 km です。

$$30 \text{ 万 km} \div 4 \text{ 万 km} = 7.5$$

光は 1 秒間に地球 7 周半分の距離を移動します。細かいことですが、光はまっすぐ進み曲がりませんので「光は 1 秒間に地球を 7 周半する」との表現は正確ではありません。



(出典：Menon Network ホームページ)

光が 1 年に進む距離は、

$$30 \text{ 万 km} \times 60 \text{ 秒} \times 60 \text{ 分} \times 24 \text{ 時間} \times 365 \text{ 日} = 9 \text{ 兆 } 4608 \text{ 億 km}$$

$$1 \text{ 光年} = 9 \text{ 兆 } 4608 \text{ 億 km}$$

時速 300km の新幹線が 1 年間に進む距離は、

$$300 \text{ km} \times 24 \text{ 時間} \times 365 \text{ 日} = 2,628,000 \text{ km (地球 66 周)}$$

1 光年を時速 300km の新幹線で移動する時間は、 $9 \text{ 兆 } 4608 \text{ 億 km} \div 2,628,000 \text{ km} = 360 \text{ 万年}$

$$918 \text{ km} \times 24 \text{ 時間} \times 365 \text{ 日} = 8,041,680 \text{ km (地球 201 周)}$$

1 光年をジェット旅客機 B787 で移動する時間は、 $9 \text{ 兆 } 4608 \text{ 億 km} \div 8,041,680 \text{ km} = 118 \text{ 万年}$

ちなみに、日本プラネタリウム協会の会員さんが 1 光年を時速 300km の新幹線で移動する場合の所要時間を計算してブログに掲載されていますが同じ結果 (値) になっていました。

新幹線やジェット旅客機で天の川銀河を移動する時間は、文字通り天文学的な数字になりました。天の川銀河を観ることはできますが、たどり着くのはほぼ不可能との結論に至りました。

移動手段	地球から天の川銀河の中心まで (2.6万光年)	天の川銀河の端から端まで (10万光年)
 (300km/h)	936億年	3600億年
 (918km/h)	306億8000万年	1180億年

電車乗り過ごさせた本

『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』

研究生 田中 祐二

数か月前の事です。阪急大阪梅田駅で神戸本線神戸三宮駅行普通電車に乗りました。

平日の昼間で乗客も少なくゆったりと席に座ることができましたので、読みかけの本を鞄を挟んでいたページから読み始めたのですが、乗車中に読書に夢中になり、ふと顔を上げると窓の外の風景がいつもと違うので、“あっ”と思ったときはもう遅く、降車駅を乗り過ごしているのに気が付きました。

飲み会の帰りに酔っ払って眠ってしまい乗り過ごしたときは、悔恨の念に駆られ、自己嫌悪に陥るのですが、その時は損をしたという感情が全くなく、こんなに熱中して本を読んだのは久しぶりなので、とても充実感を感じ何か嬉しい思いで一杯になりました。

電車を乗り過ごさせた本は『ようこそ、ヒュナム洞書店へ』(著者: ファン・ボルトム)という韓国小説です。ソウルのヒュナム洞という平凡な住宅街に新米女性店主がオープンした小さな書店を舞台に、そこに集うそれぞれの悩みを抱えた年齢も性別もバラバラの人達の関わり合いが心温まる筆致で描かれています。韓国で累計 25 万部 (2023 年 9 月現在) を突破したベストセラー小説で、日本でも 2024 年度本屋大賞翻訳小説部門第 1 位に選ばれています。

この小説の登場人物は、挫折を経験した人や、これからの人生に疑問を持っている人ばかりです。離婚をした人、夫婦関係に悩んでいる人、就職活動に失敗した人、これからの人生に悩んでいる人・・・、親子関係、結婚、仕事など普遍的なテーマが繰り広げられるところが読みどころとなっています。特に仕事に関する箇所は印象に残りました。「いい学歴をつけ、いい会社に入り、一生懸命働く」社会に対して疑問を投げかけています。それは韓国の競争社会が日本以上に過酷で、並大抵の人間は走り続けることができず、そこから脱落した人々にとっての居場所が少ないからです。

この本の素晴らしいところは、様々な悩みを持つ人たちがヒュナム洞書店を舞台に本を読み、

その言葉に癒され、本を通して人と交わり、慰めを得て、そして感動した本に出会い、どのようにして立ち直っていくかがとても深く優しく描かれているところです。最近、本を読む時間が増え、良書との出会いを渴望している私としては、とても嬉しい内容です。そして韓国小説を読んでいると若い人たちの問題意識がほとんど日本と変わらないことに驚くことがあります。生きづらさの質が同じなので、なるほど出生率が両国とも低いのが納得できます。

またこの小説は読書・映像好きにはたまらない本です。書店が舞台とあって、物語にはいろ



出版：集英社

いゝな実在の本、映画やドラマが登場します。

作中で実在する本の一文や映画のワンシーンが紹介され、登場人物が何故その部分に心を動かされたかを語るのですが、読みながら私も彼らと同じように読書をし、映画を鑑賞し、心を動かされたような感覚になってしまいました。

作中で映画の講座があり、そこで紹介されているのが日本の是枝裕和監督の「海よりもまだ深く」(2016年)でした。劇場公開時に鑑賞し



(FOD サイトより)

たのですが、ダメな中年男とその元妻と息子という不器用な家族を描いたドラマで、阿部寛が“なりたいた大人になれない”ダメ男演技を上手く演じていました。そして家族の在り方を考えさせられ、鑑賞後はじんわりと温か

い気持ちになれる映画でした。

この小説が時間を忘れるぐらい私を惹きつけたのは、全体的に“幸せとは何か”を追求しているからだと思いました。“人生”を馬が出走する競馬場に例えれば、私の場合はもう第4コーナーを回り、いかにゴールラインを迎えるかという時期が迫っています。これまでの走り振りは後悔だらけですが、最後の直線コースは悔いのない納得のいく走り方をしたいと思っています。

この小説の中で、就活に躓いた登場人物が話した言葉が心に残りました。

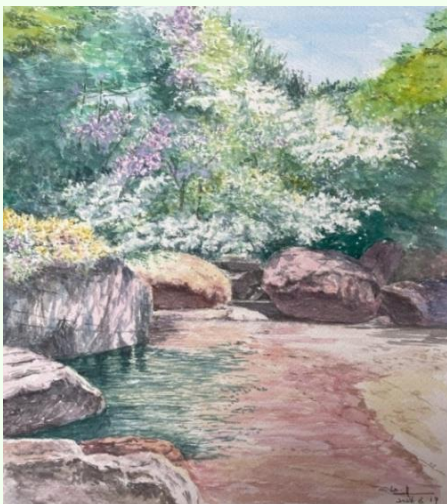
「いい人が周りにたくさんいる人生が成功した人生なんだって。社会的には成功できなかったとしても、一日一日、充実した毎日を送ることができるんだ、その人たちのおかげで」(320頁、集英社)

園田シニア専修コースに入学したおかげで、“幸せ”なゴールが切れそうです。

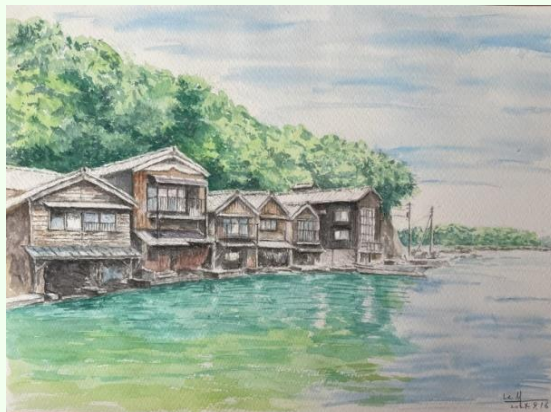
<わたしの練習作品>

水彩画

国際文化学科3年 山根 邦男



2024.6.19 鹿川溪谷



↑ 2024.9.16 伊根の舟屋

2024.7.20 ジェルブロー



ミニミニフィールドワーク

奇跡の史跡公園 田能遺跡

研究生 阪田 正樹



◀ 写真 1

田能遺跡の
竪穴式住居

昭和 40 年 (1965 年) 園田の北にある田能の配水場建設工事中に大量の土器が発見されました。工事が進むなか、弥生時代の遺物が大量に出土したことからこの地域が大規模な遺跡・集落であることがわかりました。

私も近くの中学校に通い、発掘にあたった村川先生のもと発掘調査に参加させて頂きました。

夏休みも発掘調査をして、管玉を発見したときには心躍り、考古学者になろうと思った時もありました。

1. 田能 (たの) 遺跡の位置、歴史等



田能遺跡は尼崎市の北東端 (田能町 6 丁目) で猪名川の左岸に立地します。

猪名川地域には田能遺跡を筆頭に上流域には加茂遺跡 (川西市) 上ノ島遺跡などがあります。

約 2700 年前の弥生時代の中期～後期、古墳時代の一部に位置します。

当時の海岸線は今の阪急神戸線と JR 神戸線にあったと推定されます。田能遺跡は住居、墓地、土器作成、稲作農耕地区があり、他地域と交流した結果各地からさまざまなものが運ばれていました。

2. 田能遺跡の保存運動

1960 年当時は高度成長期で工業用水の排水場建設が最優先であったことから、遺跡は破壊される運命にありました。工事が進むなか、弥生時代の遺物が大量に出土したことから大規模集落の跡地であることが判り、新聞等で報道されました。

発掘調査は 1960 年～61 年まで続けられました。また当時では珍しく地域住民、商工会議所、全国の考古学者等から遺跡の保存運動が起きました。



署名活動で保存をうったえる

「田能遺跡を守る会」

保存運動の結果、建設工事の変更と遺跡の一部保存が決められました。

そして 1969 年、国の史跡に指定されました。

1970 年田能資料館が開館しました。

田能資料館内には出土遺物を収蔵・展示するため展示棟を建て屋外には竪穴住居 (写真 1) や高床倉庫 (写真 5) などを復元し、史跡公園として整備しました。



写真 2

田能資料館入口

3. 資料館の展示物



写真3 大量に出土した土器類



写真4 木棺墓

弥生時代前期から後期までの長期にわたり埋葬された多くの墓があります。

4. 田能遺跡の重要性

尼崎市の土中の文化遺産は近畿地方に広げても屈指の価値を持つ弥生時代の集落跡です。田能の地に根をおろした稲作農耕文化のその価値は不動です。

皆様も一度は見学・体験等を行って古代（弥生時代）のロマンに浸ってみませんか。今一度戦後の人たちの保存運動が田能遺跡を守ってくれたことに感謝します。

(参考)

登呂遺跡	弥生時代後期から古墳時代まで
三内丸山遺跡	縄文時代前期～中期
吉野ヶ里遺跡	弥生時代



写真5 高床倉庫

<わたしの作品>

スケッチブックから

研究生 松原 光治



夏の夕暮れ



冬の準備



春の訪れ

よもやま話の会

ひと・こと・もの にであう

研究生 三木 静子

研究生 河田 かつのぶ

30回

7月31日

▶香川豊彦の生涯と業績－記念館見学

賀川記念館（神戸市）には、賀川豊彦の生涯と業績を映像などで展示しています。賀川は、1909年から福祉・医療・平和・人権・共生など、暮らしの根幹を築くことに生涯を捧げた活動家です。博愛精神を実践し「貧民街の聖者」として世界的に知られ、ノーベル文学賞や平和賞の候補になった賀川の業績と生き方に触れました。

▶「わたしの神戸学」のお話

木村英助さん

木村英助さんは、これまでも神戸八社めぐりで皆さんを案内したり、神戸についての発信をしたりしてきています。木村さんが神戸に関わる歴史や寺社などを深く学んでみようと思ったきっかけや田辺真人先生など研究者との出会い、案内してきたコースを「わたしの神戸学」と題してお話をいただきました。

31回

10月20日

▶神戸にある宗教施設巡り

案内：木村英助さん

神戸は明治の開港以来、外国人を受け入れ、国際都市として発展してきました。その結果、現在にいたるまで多くの宗教施設が旧居留地の周辺に点在しています。

神戸ハリストス正教会（ロシア正教）や神戸ムスリムモスク（イスラム教）、カトリック神戸中央教会、オヘル・シェロモ・シナゴグなど、7つの施設を木村さんの案内で訪れました。シ

ク教のグル・ナーク・ダンバールでは、礼拝に参加し宗教音楽を聞き、インド料理をいただきました。異文化に触れることで、「ちがいに」と「おなじ」の発見がありました。

訪れたシク教寺

院 グル・ナーナ

ク・ダルバールで

礼拝を見学体験



32回

11月20日

▶松山先生と行く長崎研修旅行の報告

報告：小笠原昭博さん

「日本の風土と文化（前期）」担当の松山利夫先生の講座で展開された長崎奉行・川路聖謨の「長崎日記」などをもとに、幕末の開国交渉についての学びを研修旅行につないだ報告でした。川路とロシア全権大使・プチャーチンによる交渉の場所となった長崎、そして現在の長崎について多くの写真を見ながら小笠原さんから報告していただきました。（9～11 ページ等に詳述）

▶舞台発表－「朗読劇」と演奏

朗読倶楽部6名による『源氏物語』のパロディの朗読劇で、ユーモアたっぷりの「春のめざめは紫の巻」から始まりました。

続いてシニア専修コースの皆さんによるギターやウクレレ、ハーモニカなど楽器演奏や歌唱の発表。最後に「青春時代」の替え歌、「年金時代」を皆で歌い、共に音楽を楽しみました。

専修コースの皆さんの中には、ギター、サックスなどの楽器の練習を重ねている方がおられます。また、朗読倶楽部で練習を重ね、けやき



祭などで発表をしている方もおられます。そうした方々の舞台発表の鑑賞となりました。

心と体が揺れた

学園祭に参加して

情報学科 1 年 十河 和夫

1. けやき朗読倶楽部

涙腺が緩んでいる。芥川龍之介「蜜柑」の朗読がトンネルを抜けた場面の時だった。朗読者が読む場面が目をつ瞑ったにもかかわらず鮮やかに見えてきたからだ。作品は二等車に乗った主人公の席に、三等席の切符を握った十三四の小娘が同席した場面から始まった。主人公の私はこの小娘の下品な顔だちを好まなかつた。迷惑だと嫌悪もしていた。列車が隧道トンネルを迂りぬけて、枯草の山と山との間に挟まれ、或貧しい町はづれの踏切りに通りかかった場面まで進んだ時だった。それまでぼんやり聞いていたのに、小娘が蜜柑を投げるシーンが胸に直接飛び込んできた。



「やつと隧道を出たと思ふ——その時その蕭索（せうさく）とした踏切りの柵の向うに、私は頬の赤い三人の男の子が、目白押しに並んで立ってゐるのを見た。(略) 窓から半身を乗り出してゐた例の娘が、あの霜焼けの手をつとのぼして、勢よく左右に振つたと思ふと、忽ち心を躍らすばかり暖な日の色に染まつてゐる蜜柑が凡そ五つ六つ、汽車を見送つた子供たちの上へばらばらと空から降つて来た。私は思はず息を呑んだ。さうして刹那に一切を了解した。」

奉公をせざるをえない姉。もう会えないかもしれない姉のため見送りに来た弟たち。その弟たちの労に報いるために蜜柑を投げる姉。安寿と厨子王ではないが姉弟の愛。そう思うと涙が頬に伝わり、目を瞑っても目の前に日本の原風景が展開してくるのが止まらなかった。

本を読む感覚とは違う。本なら読みたいく無い

時はページを閉じることも出来る。しかし、朗読はあたかもその場に自分が同席しているような感覚にさせる。

「私はこの時始めて、云ひようのない疲労と倦怠とを、さうして又不可解な、下等な、退屈な人生を僅に忘れる事が出来たのである」で終わった。

僕の涙を止めることは出来なかったが、退屈な人生に朗読の良さを教えてくれたのは確実だ。

2. けやき軽音楽クラブ

人は亡くなる直前まで聴覚はしっかり残っているといわれている。それだけ音は人間にとって大事な感覚なのだ。だから、曲が始まったと同時に自然と体が揺れて、足で調子を取る動作をしている自分を発見して驚いた。

学生軽音楽部の「卒業写真」の歌が流れると懐かしさがドッと胸に押し寄せてきた。クラブで参加された学生が歌っているのだが、年齢など関係なく会場の皆が一体化しているようだった。言葉が通じなくても、音楽は世界で通用する。そうなんだろうと思う。でも、歌詞を知れば歌はもっと自分の胸にグッと入り込んでくる。学生は歌う「あの頃の生き方をあなたは忘れないで あなたは私の 青春そのもの」。そうなんだよ、老人の私がキッパリというけど、今この瞬間の学生生活が青春そのものなんだと。

クラブの皆さんが選んだ歌のそれぞれが、しっかりときっちり胸に伝わってきて、歌が歌われていた時代に瞬時に戻ることが出来た。「バック・トゥ・ザ・フューチャー」のような落雷がなくともリズムと歌詞で過去に戻れることが出来る。これは重要な発見だった。

最後は会場の人と共に中島みゆきの「時代」を歌う。そんな時代もあったねの文句がグッと胸に刺さる。だが、これで終わるのでは心が許してくれない。アンコールの声が起こり「上を向いて歩こう」を会場の皆と共に歌って終わる。

けやき軽音ライブに参加して思った。歌は人生を元気づけ、青春に戻らせてくれ、今を生きているという実感をもたらしてくれた。



長崎というところ

明るさと悲しさと

研究生 井上 聖明

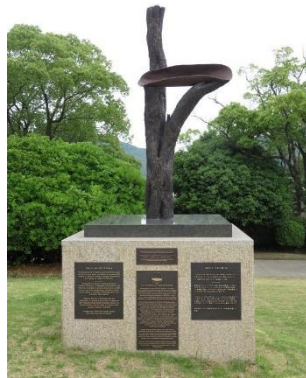
この夏の記録的な猛暑の9月11日～13日に「日本の風土と文化」受講生で長崎へフィールドワークに行ってきました。

当初の目的は幕末の頃江戸幕府に開国をせまる「ロシア」との交渉役として長崎に赴任し、粘り強く対応した「川路聖謨」の足跡と、出島を中心とした史跡を訪ねることでしたが、大村や長崎で多くの歴史的な資料館や教会などを見学したことで、改めて「長崎」というところを学ぶこととなりました。

長崎は遣唐使の時代から外国とのつながりがあり、江戸時代には交易品と共に文化、宗教などの出入りする数少ない場所となったことで、他とは異なる歴史を刻むことになります。

その中でも「キリスト教徒迫害」のこと、近代における「原爆」のことは悲しい歴史ではあるが避けて通れない事柄かと思います。

まず原爆については平和公園に平和のモニュメント「生命の木」があり、松山先生から、イギリスの核実験で被爆したオーストラリア先住民族からの寄贈物で、この木からは食物や赤ちゃんを入れる器



(ピティ)が造られることから、お互いに平和と調和を分かち合うことを象徴し「被爆者は世

界中にいる」ことを伝えるものであると、説明がありました。そのあと原爆資料館で、一瞬に

74,000人の命を奪った原子爆弾模型や被爆地に横たわる焼けた遺体など悲惨な写真、被爆者や家族の日記、手紙などを目にしたとき、あまりに辛くて泣きました。

次に、西坂の丘と呼ばれるところにある「日本二十六聖人記念館」は、秀吉による「伴天連追放令」や家康の「禁教令」に伴い、それぞれ26人と55人の信徒が処刑された場所です。

少し火を遠ざけ長い時間苦しませて処刑する情景が描かれた絵や他の展示物から当時の情景が想われ、その後も永く迫害を受けながら耐え続けた信徒の姿にまた泣いてしまいました。

しかし、現在の長崎は街も人も明るく、路面電車の走る市街のたたずまいも穏やかな雰囲気が感じられます。

年配のタクシー運転手さんも明るい方でしたが、もしかすると親や先祖の方も原爆の被害、宗教迫害を受けられたかも知れないと考えると複雑な気持ちになります。

悲しい過去の歴史を伏せたかのような長崎の明るい雰囲気は、幼い時に辛い経験をされたことを嘆くでもなく、ことさら明るく振舞われている私の知人の表情によく似ています。

おわりに

原爆資料館と二十六聖人記念館で泣きながらつぶやきました。Why? なぜ人は人を殺す。知性と理性を持った生きもののはずなのに争いは絶えず・・・悲しい。



唐人屋敷跡を訪ねて

研究生 島寄 静代

長崎研修旅行3日目の朝食後、同室の方を誘い、ホテルから近いという唐人屋敷跡を散策することにする。次の行程に出発するまで1時間あまりある。地図もなしのあてずっぽうの歩きだ。

ホテルマリンワールドを出て左側に目星をつけて行くと、赤いレンガ塀の唐風建物が目に入ってきた。「天后堂」と小さな標識が貼られている。現在午前7時過ぎである。案内板には **tenkou shirline** と記されているので神様をお祭りしていると思われる。その横の石段を少し上ると、又赤い柵に囲われ、青い芝生の奥に赤い壁の小さな建物が見えた。



天后堂

「観音堂」と朽ちた暖簾が掛っている。野良猫が2匹座っている。

右側を上に行くと「唐人屋敷の空堀遺構」の案内板。コンクリートの壁の前を横に進み、下って振り返って見ると、石段の奥に赤壁の唐様の建物が見えた。

「福建會館」と額が掛っている。いずれも内部を閲覧させているようには見えない。古を偲ぶよすがの観である。これで初期の目的は果たせた。ここからはホテルに帰るばかりである。



福建會館

広い道路に出て緩やかに傾斜した道を下って行くと、道路を跨いで唐様の瓦屋根の門が見えた。軒下に向き合った龍の看板が、振り返って見ると、こちら側には唐人屋敷跡と、右の柱に「天継地義無今古」左柱に「智山仁水有青性情」の文字が刻まれている。唐人屋敷象徵門(誘導門)である。これは後で知ったことだ。この辺りは廣馬場町というらしい。建物の壁に「平安即是家門福」「孝有可為子弟風」と禅語の刻印が見えて、ふっと異国情緒を醸された。そぞろ歩きの醍醐味である。程なくしてホテルの標識が見えて安心した。

後で検索すると、唐人屋敷は火災で消失し、その後再建と改修がされたようだ。唐人は市中に雑居していたが、彼等の持ち物にキリスト教に関する禁制書が発見されたので、江戸時代の鎖国政策で、唐人も一か所に隔離すべきと1689年に唐人居住地区として唐人屋敷が作られた。

密貿易の防止も兼ねていたようである。9,400坪の広さで2,000人収容され、中国人の外出は唐寺参拝



唐人屋敷象徵門

に限られたが、居住地区内では物の売り買いも盛んになされていたとある。取り締まりも出島に比べて寛大であったが、唐人番という13人の見張り人がいたそう。不自由な生活を強いられた唐人であるが、今に様々な文化が伝わっている。長崎に伝わった唐風料理は、卓袱料理となり、寺院に伝わって普茶料理となった。

唐船の船員が伝えた船競争のペーロン、長崎くんちの竜(ジャ)踊りなど有るようだ。それにもまして、長崎と中国とのつながりは、何百年にも亘る血のつながりである。「人類は皆兄弟」、争うことを止めて、仲良く協力していかなければいけないと切に思うのである。

85 歳までの風景—続編

86 歳の風景

シニア理事長奮闘記

研究生 中村 米三郎

— 前号からの続き —

12. マンション管理組合理事長に就任

84 歳から 85 歳の前半は、大病にかかり 1 年間休学をしましたが、2023 年 9 月 85 歳を通過して、10 月からシニア専修コースを再開し、通常の生活に復帰しました。

2024 年 5 月から今まで考えていなかった、大きな波に遭遇します。

2008 (平成 20 年) 年 10 月、川西市から芦屋市の今の住居に転宅しました。その住居は、昭和 45 年 7 月に建築された 29 階建ての 184 室がある高層マンションで、多分高層マンションのはしりと思われます。



マンション
の外観



桜の頃
右手前が
マンション



筆者の部屋
10 階から見た
六甲山

移転してきた翌年の 2009 年 5 月のマンションの総会で 11 名いる理事に任命されました。それから 15 年目の 2024 年 5 月に 2 回目の理事になり、今度は理事長になってしまいました。

理事長の職務は、マンションの代表者であり職務はマンションの業務が多岐にわたります。その業務は、例えば

- ・理事会 (マンションの運営、問題の解決等マンションの中核にあたります。月 1 回)
- ・環境委員会 (住民の方を 2 カ月間順番に委員として、住民が生活していく上でのいろいろな課題を話しあいます。月 1 回)
- ・長期修繕委員会 (マンションの建物の管理を行い、必要があれば修繕を考えます。大体、15 年の間隔で大規模な修繕を行います。月 1 回)
- ・建築関係、電気関係、植木関係、清掃関係等マンションの全般的に関わる責任者になります。
- ・建築関係、電気関係等いろいろな会議に出て、必要な工事があれば発注します。(内容はあまり分かりませんが)
- ・広い土地がついていますので、そこに植えてある植木の管理を行います。
- ・マンション生活に関して困っておられる住民の相談者になります。
- ・行政、地域自治会との窓口になります。
- ・このような理事長案件もありました。エレベーターが故障しているので、修理方法を相談したい、と業者から連絡があります。植木関係の業者から、いつ木の剪定に行けばよいですか、と急に電話が入ります。
- ・今年は 45 年間続いたマンションの管理業者が変り、新管理業者への引継ぎ業務で多くの時間を必要としました。



大規模修繕中の
マンション

ということで、シニア理事長は一週間休みなく奮闘しています。任期はあと半年です。



△ クーリエ・ジャポンのサイトより

シニアの夢物語

研究生 三谷 美沙子

ある日何気なくパソコンを見ている時、画面に目が釘付けになりました。

アメリカのカリフォルニア州スタンフォード大学内での高齢者コミュニティ「大学で暮らし大学で学ぶ高齢者達」— 新しい生涯教育の形。

現在アメリカでは 85 歳で高齢者施設と提携しているとの事です。キャンパス内で学びながら老後を満喫している Baby ブーマー世代、高齢者と大学の双方にとって有意義なプロジェクト (エコノミスト取材)。

実例として、「ミラベラ」アリゾナ州立大学キャンパス内には 20 階建ての建物 (大学連携型リタイアメントコミュニティ) では 300 人以上の高齢者が暮らしている。大学の受講許可証で学生と同じ講義や文化イベントに参加出来、試験免除有りの特典付きで当然それはシニアにとっては助かります。(笑)

学内の施設ではパートナーと同室、シングルルームなど選択でき、レストランも充実して食事提供されます。アートスタジオ、プール、ジム等の設備が有りプライベートも保たれキャンパス内ではゴルフカート利用したりマウンテンバイクを快適に乗り回しているそうです。健康時は、音楽ライブや各種イベントに参加して生き生きとした老後を過ごすことができます。

各フロアには記憶障害ケアセンターや 24 時間介護が必要な入居者向けの部屋があり、夫婦別の介護室に移る事も出来るという。

日本のシニアの老後と比較すると国民性もあるが少し頭を柔軟にして考えれば、新しい生き方の選択方法かも知れません。最近では超高級な富裕層向け老人施設や、サービス付き高齢者住宅介護老人福祉施設や家族同居等の色々な選択肢があります。

健康でパートナーと共に仲良く暮らせればラ

ッキーですが、突然シングルライフになる可能性も有り残された人生を楽しく過ごすためにもアメリカの『新しい生涯大学エンゲージメント』の取り組みは素晴らしいと感動しました。近い将来日本の大学にも開放された有料のシニア施設が出来れば一番に入学を考えたいと切実に思います。

終活など悲しい言葉ではなく明るいシニアの為に夢の有る竹内まりやさんの曲「人生の扉」(抜粋) で締め括りたいと思います。

満開の桜や 色づく山の紅葉を
この先いったい何度 見ることになるだろう
ひとつひとつ 人生の扉を開けては 感じるその重さ
ひとりひとり 愛する人たちのために 生きてゆきたいよ

I say it's fine to be 60
You say it's alright to be 70
And they say still good to be 80
But I'll maybe live over 90

君のデニムの青が 褪せてゆくほど 味わい増すように
長い旅路の果てに 輝く何かが 誰にでもあるさ

I say it's sad to get weak
You say it's hard to get older
And they say that life has no meaning
But I still believe it's worth living
But I still believe it's worth living

私は、人生は素晴らしいと信じているの !!



「けやき祭」で軽音楽クラブの仲良し 3 人組で熱唱する三谷さん (右端)

(2024. 10. 27
編集クラブ撮影)

「サマセミ」と「サマライ」

研究生 徳田 将之

このけやき便りの「クラブ・同好会活動報告」にも書いたが、今までけやき軽音楽クラブの演奏活動報告、等についてはタイムリーに「受講生の交流ルーム(ブログ)」でアップデートし告知してきた。しかし、残念ながら8月3日(土)に参加した「サマセミ 2024」以降その機会が失われているので、8月7日(水)に開催した「サマライブ」と合わせ、その概略の模様を以下ご覧頂きたい。

【サマセミ】「みんながセンセイ、みんながセイト」のキャッチコピーで開催(主催者には尼崎市も名を連ねている)されるサマーセミナーで「学びの夏祭り」ともPRされているイベント。



「サマセミ」事務局のPRポスターをベースにしたチラシ

今年は園田学園女子大学が会場になったこともあり、大学からは大江学長を始め23人(組)が「センセイ」となり、我がけやき軽音楽クラ

ブも訪問演奏を体験授業とした「講座」のセンセイとして参加した。

ところで、今年の「サマセミ」は8月3日(土)・4日(日)の2日間に約350もの「講座」が生まれ、何と延べ6000人もの来場者があったというから驚いた。

サマセミ 2024

一緒に歌おう! シニアバンド わくわくライブ

今日の「授業」では来場者(セイト)さんに、シニアバンドの「THE GAKU-YOU*」(ざ・がくゆう)が老人施設を訪問し、そこで演奏している懐メロから歌謡曲やポップスといった幅広い分野の音楽を聴いてもらい、また一緒に歌ってもらうことで、訪問演奏の実体験をして頂こうと思っています。

* THE GAKU-YOUは、「学友」や「楽友」の「あなた(YOU)」と一緒に音楽を楽しみましょう、という思いを込めたバンド名です。

プログラム (注)「授業」の進捗状況により、一部割愛する曲があります

1. 恋のバカンス	ザ・ビーナッツ
2. 花嫁	はしだのりひとクライマックス
..... 前で一緒にうたいませんか?	
3. 心の旅	チューリップ
4. 上を向いて歩こう	坂本九
..... みんなで歌いましょう!	
5. 岬めぐり	山本コウタローとウィークエンド
6. サライ	加山雄三 谷村新司
7. あの素晴らしい愛をもう一度	加藤和彦 北山 修

園田学園女子大学 シニア専修コース
けやき軽音楽クラブ THE GAKU-YOU

2024 THE GAKU-YOU

当日来場者に配布された「プログラム」

さて、けやき軽音楽クラブは第一音楽室で「一緒に歌おう! シニアバンド わくわくライブ」の「授業」を「起立、礼、着席!」の掛け声とともに開始したが、来場者は30人程度といったところだった。

授業タイトルの「一緒に歌おう!・・・」に興味をもたれた音楽好きの老若男女が多かったのだろうか、「前で一緒に歌いませんか?」のコーナーでは多くの方が積極的に登壇された。



「前で一緒に歌いませんか?」で登壇してくれた方々

また「みんなで一緒に歌いましょう！」の2曲（「岬めぐり」「サライ」）では、会場内が一体となるほどの大合唱になり、今迄のライブでは経験しなかったような会場の盛り上がりで感動ものであった。その模様（「サライ」）を以下のYouTube動画でご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=bAIwabTqIl8>

今年度前半のハイライトはこの「サマセミ」だったと思うが、休む間もなく8月7日（水）に軽音楽クラブの年間最大イベントであるサマーライブを神戸ハーバーランドにあるライブハウス「モズライトカフェ」で開催した。

【サマライ】とは、サマーライブを単に「サマセミ」と語呂合わせした造語ですが、2016年8月に第1回サマーライブを西宮北口のライブハウス（RJ&BME's）で開催してから、あいだにコロナ禍で中止した第5回（2020年）はあったものの、THE GAKU-YOUの夏季休暇中の恒例行事となったこの真夏のライブは今年で第9回を数えることになった。

今年の夏も半端ではない酷暑だったが、会場は60人を超す来場者でほぼ満席となった。

「プログラム」にはけやき祭などで交流のある学生軽音楽部のメンバー4人にもゲスト出演（プログラム：7，8）してもらい、若さ溢れるステージでライブを盛り上げてもらった。また、我々シニアバンドとのコラボ曲（同：9，10）も演奏したが、バラエティーに富んだ選曲は来場者のアンケートでも好評だったので、主催者として大変喜ばしいことだった。



学生軽音楽部とのコラボ

♪【第1部】	
1. 恋のバカンス	ザ・ビーナッツ
2. 花嫁	はしだのりことクライマックス
3. 夜空の星「エレキの若大将」バージョン	加山雄三
4. 蒼い星くず	
5. パイプライン	ザ・ベンチャーズ
6. ベンチャーズ・メドレー	
7. 愛の花	あいみょん
8. 花束を君に	宇多田ヒカル
9. 未来へ	Kiroro
10. 全部だきしめて	Takuro Yoshida & LOVE2 ALL STARS
♪【第2部】	
11. 帰れソレントへ	ナポリ民謡（カンツォーネ）
12. 家に帰ろう（マイ・スイート・ホーム）	竹内まりや
13. ノルウェーの森	ザ・ビートルズ
14. 好きにならずにいられない	エルヴィス・プレスリー
15. 人生の扉	竹内まりや
16. 岬めぐり ～みんなで歌おう～	山本コウタローとウィークエンド
17. 海 その愛	加山雄三
♪ THE GAKU-YOU（ザ・ガクユウ）	
ボーカル・ギター:	徳田将之 山根邦男
ボーカル:	井上礼子 平田好子 三谷美沙子
ピアノ・カホン:	繁治史子
《ゲスト》カホン:	油川雅英 ドラム: 佐々木淳次
♪ 園田学園女子大学 軽音楽部	
ボーカル:	ピアノ:
カホン:	ドラム:

当日配布された「プログラム」の一部

NO.10の「全部だきしめて」を以下のYouTube動画でご覧ください

<https://www.youtube.com/watch?v=UqbNqwy6qFle>

また、モズライトギターに因んだ加山雄三（同：3，4）とザ・ベンチャーズ（同：5，6）の曲にはドラムスのゲスト出演をお願いしたが、その迫力あるドラミングが加わったエレキサウンドはこれまた好評だったのが嬉しい。

午後2時からの2時間余りでアンコール2曲（「サライ」と「あの素晴らしい愛をもう一度」）を含め全19曲を演奏し、真夏の午後の「宴」はお開きとなった。

来年は第10回目を迎えるサマーライブだが、実はもうそれに向けて着々と準備を進めている。

日程は2025年8月26日（火）、場所は兵庫県立芸術文化センター（小ホール）で開催予定である。THE GAKU-YOUとしては2021年、2022年に続き3度目となる会場だが、このコンサートホールは観るだけでも価値があると言われているので、読者諸兄にも話のタネに是非ご来場頂きたいと願っております。

私と荒木村重研究

研究生 徳永 悦子

私は平成19年(2007)に荒木村重研究会に入会しました。

荒木村重をご存知ですか。戦国時代伊丹にあった有岡城主です。

元摂津国池田氏の配下にあった後、織田信長に登用され、天正2年(1574)伊丹氏を追放し、その後有岡城と改称し、摂津国の統治を信長から一任されました。有岡城は、城だけでなく侍町・町屋地区を堀と土塁で囲んだ惣構(そうがまえ)の城です。価値を認められ昭和54年12月に国の史跡に指定されました。東西800m、南北に1700m、北に北の口・岸の砦、西に昆陽口・上藤塚砦、南に鶴塚砦を築いています。

しかしその後、天正6年(1578)10月信長に謀反を起こし籠城しました。理由は諸説ありますが、信長に従うよりも毛利に与した方が自分を生かせると判断したという見解が有力視されています。織田家直属の家臣と、村重の中途採用組との信長の扱い方の違いもあったのではないのでしょうか。



「太平記英雄伝 廿七 荒儀攝津守村重」

歌川国芳 画

織田信長が饅頭を刀に刺して村重に向けたのに食らいついた図

天正7年(1579)9月、息子村次の尼崎城へ数人で移ります。しかし11月には有岡城は落城します。やがて妻子他一族郎党は信長により皆殺しにされました。これは信長の三大虐殺の1つです。このため、村重は妻子を捨て、自分だけ逃げ生き残った卑怯者とされました。

しかしその後わずかな子孫と共に花隈城に移り戦いを続けましたが、後、毛利を頼り尾道に移り、信長死後は茶人として豊臣秀吉に登用され、荒木道薫と名乗り、千利久十哲の一人になり、堺で出家して天正14年(1586)52才で死去しました。



伊丹市 有岡城跡史跡公園 従来の石垣

近年色々資料が発見され、村重本人が毛利の援軍を求め尼崎城に行き、その後花隈城へと戦いを続けたのではないかと。この時代の武将の考え方は何が何でも生きてお家を残す事であったと思います。しかし謎多き武将です。

有岡城落城後伊丹城と改名され、天正11年(1583)廃城。城下町のうち、町屋地区はそのまま残り、江戸時代には酒造りの町として栄えました。

今研究会ではブログを開設し村重の子孫の方々も入会されています。昨年も有岡小学校区まちづくり協議会と共催し、天理大学准教授の天野忠幸先生の天野セミナー、茶と能を嗜んだ文化人としての子どもによる能、新作能「村重」、有岡城惣構を歩く散策を行いました。

11月3日村重入城450年記念としてJR伊丹カリヨン広場にて村重陶板の御披露目式を行います。

今後村重の子浮世絵師岩佐又兵衛、天野セミナー、有岡城惣構散策を企画しています。

情報学科 新入生歓迎会兼懇親会を開催

情報学科3年 石丸 敏美

2024年10月30日(水曜日)15時より、5号館2階「チャティー」にて新入生歓迎会兼懇親会を開催しました。今年度シニア専修コース情報学科に入学された1年生は17名で、参加された方は13名でした。懇親会は、1年生の基礎情報をご担当の尾崎教授(情報教育センター所長を兼任)、2年生の応用演習をご担当の山本名誉教授を来賓にお迎えして、その他の参加者としてOB3名、研究生4名、3年生3名そして2年生9名でした。できるだけ多くの方が大学に来られている日に調整するため、開催が遅れたことを申し訳なく思っています。

懇親会は、お二人の来賓のご挨拶に始まり、参加者全員から自己紹介をひと言ずついただきました。新入生の皆さまは、明確な学習目標をお持ちの方、今後の学習に不安をお持ちの方等おられました。また、研究生の和田さんが公開講座で水彩画を習っておられ、数点の作品を披露されました。印象に残った事は、5期生(2013年入学)でOBの峠田さんが、授業外で同期と相互に教えあう為に、時には警備員に追い出される?まで学内で遅くまで学習されたとお話をされました。

教本ベースで授業が進められるので、わから



ないことをそのままにすると授業についていけなくなることがあり、情報学科では相互扶助が肝要です。

2020年度、2021年度にはコロナの影響で校内に立ち入りできず、専修コースは休眠?状態で多くの方が大学を去りました。次の2年間は密になる集まりは制限されて、この4年間で学年間の交流が困難になりました。前年度に、当時の3年生と研究生が、4年ぶりの新入生歓迎会開催に努力されました。今年度も、引き続きこのような集まりを持てたことは嬉しく思います。この縦の糸を紡ぎ、研究生とOBを含めて全体の活動をコロナ前に戻していかなければと痛感しました。

最後に集合写真を撮影して、17時にお開きになりました。この後は、お酒が飲みたい人や話足りなかった方々は、2次会に向かわれました。



尾崎先生のご挨拶 ▶



山本先生のご挨拶 ▲



集合写真 ▶

情報学科に入学して

情報学科 1 年 鈴木 好夫

情報学科は難しい？

情報は難しい？ そんな思いと不安を持ちながら、昨年の 12 月に説明会を受けました。

パソコン教室ではないので、マウスの使い方などは教えません、多少の文字入力出来ることが必要ですと聞かされていました。

今年の情報 1 年生は 17 名、皆さんパソコンの経験ある方、少ない方と様々です。



情報の授業ってどう？

教室に入ると、まず使用するパソコンにログインすることから始まります。自分の ID、パスワードの入力の要求が何回もあり、この作業には慣れるまでに数分かかることになります。

授業内容は教科書に基づいて課題の作業を行います。先生がモニターに表示しながら、丁寧に説明していただけますので、理解に困ることはありません。わからない時は手を上げて、補助の方に助けていただけます。その日残った課題は宿題となり、後日提出して先生に確認をいただくことになります。したがって、残業される方、自宅でする方に分かれ、皆で一緒に食堂へ行くことはありませんでした。



前期最後の課題

(自分への賞状)



5号館4階は別世界！

開花亭入口横のエレベーターを 4 階で降りると、ここからはもう情報学科の世界です。

通路横にはパソコンが 8 台程あり、いつも学生さんが自習しています。通路を挟んで情報センターと教室が並び、各教室にあるパソコン約 50 台には圧倒されます。またパソコンは Win11、MOS365 と新しいものが使用されています。

この 5 号館は常に空調が管理され、この夏の猛暑でも快適に受講することが出来ました。



懇親会の実施(7 月 10 日)

教室ではパソコンがあるため前後が壁になっていて、左右の方以外には会話することなく、ほとんど交流がありません。

新入生歓迎会も後期と聞き、これではと入学後 3 カ月も経って、ようやく懇親会の実施となりました。多くの方が参加し、ランチを食べながらの自己紹介で顔と名前をなんとか覚え、グループライン『情報 14 期』による連絡、そして次回イベントの世話係がまとまりました。



みんなで卒業しよう！

後期も始まり、新たな授業内容になりましたが相変わらず課題をこなすのに忙しいです。

何とか助け合いながら頑張って授業を受け「みんなで卒業しよう！」と思っています。

情報学科の授業は難しいのではなく、ただ忙しいだけです。「文歴」「国際」の皆さん、卒業されたら「情報」への再入学はいかがですか！

《ざっきちょうから》

研究生 金森 扶美子

♪ 数字が嫌い！

数学が苦手、というより大嫌いである。数学というよりそれ以前の小学生でする算数が苦手であった。

顧みて何につまずいたかという、小学 5 年あたりで習う「鶴亀算」が出てきてから、特に「流水算」である。“川に沿って、24km 離れている A 地点と B 地点をエンジン付きの船で往復しました。上りは 3 時間、下りは 2 時間かかりました。この川の速さは時速何 km でしょうか”とかいうの。

そして、たぶん中学生になって買い物、割引、利益などで求められる連立方程式なるものの、○割引：(定価) $\times(1-0.1)$ の 1 の意味が分からず、この 1 ってなんだろうと思ってしまったのである(笑わないでください)。この 1 をずっと引きずってしまい前に進めなくなったのである。因数分解？ $\sqrt{\quad}$ 、なんだこれは、さっぱりわからない。こんなん必要か？というわけで次第に数学の成績が下がってきたのです。

ソロバンも嫌いでしたね。就職して初めは総務系だったのが、途中からなんの因果か製造部門にスカウトされたのです。塩化ビニルのポリマーの日々製造計算をするわけです。ソロバンはできますか？う～ん、足し算は？なんとか、割り算は？苦手ですと言うと商業高校出身の男性にあきれたものです。製造量の数字は月末には億単位です。これを月末に合わせるのは至難の業でした。

なのにです。算数嫌い、数学嫌い、数字嫌いな自分が何故だか車に乗るようになってから行きかう車のナンバープレートに眼がいつてしまい、数字を読むのが大好きなのです。2 5 2 5、にこにこ、いいね。3 5 3 6 と 4 数字の中に 2 個同じ数字があるのはリズムがあって覚えやすい、6 9 3 8 は数字がバラバラなのは覚えにく

いから駄目、数字と語呂合わせしたりしてひとりで運転しながら 4 9 8 9 楽しんでいる。

なのに、これは書いてもなんの支障もないと思って白状するが、ある時気が付いてびっくり！私の車のナンバープレートの数字は、5 8 3 な 2 3 5 3、なんと嫌味なフミコさん。これは皮肉か？2 3 5 3 は私が決めたのだが、その前に付いたのは？？？偶然か、真実神のお告げか……。

この年齢になって考える。何故数学につまずいたのか。少しわかったことは、難しく考えないで公式に当てはめればいいのだよ、と。何故難しく考えるのかということ、私の頭はまったく文系だということ。文系の頭は答えが一樣ではないのだ。だから 1 にこだわってしまったのだ。

歳とともに、益々計算が嫌になる。文字を読むのも嫌になってきたのだから、数字は何をかいわんや！

お勘定はあなたにおまかせ！！

♪ 夏の散歩で見つけた素敵なもの

この夏、学校は休みで通学することが私の健康のバロメーターなのに、暑いのでほとんどクーラーの中で過ごす。これではいけないと朝 5 時起きして薄明の川沿いをウォーキング。これでも辛うじて涼しい。

土手の樹々より川の中の草木の方が鬱蒼として勢いがいい。水分がたっぷりあるからだろう。8 月から 9 月、草木の中の花も移り変わる。木槿の花、葛の花、そして今年は遅かった曼珠沙華。

その中でも一番気に入って新しい発見が、土手沿いのエノコログサ、カヤツリグサという雑草である。エノコログサだけがずっと連なって群れている。それが風に吹かれて実に優しく可憐にそよいでいるのだ。カヤツリグサも同様である。エノコログサは猫じゃらし、カヤツリグサはかんざしにして幼いころ遊んだ。そんな雑草のエノコログサとカヤツリグサだけでも、新しい発想の花束になりそうだ。

ぼやき川柳

研究生 木下 俊造

道義的 責任の無い 辞書もある
三年後 足を引っ張る 推した人
責任を 誰も取らずに また選挙
乱立で ひよっとしたら ひよっとする

ブレるなら よかったのか あの人が
公認と 非公認は 紙一重
数合わせ 勝てば官軍 洋々と
公約の 財源いつも 後まわし



一年で 手順忘れる 秋祭り
番組表 見たい番組 今日もない
ときめいた 十五のヒロイン 四十路前
再放送 増えたせいか ミニ値下げ
帽子とる 三人ともが 光る君
シリーズは 浜や博多も やっていた
切符買う 肩身の狭さ いつからか
新米が 値上げを連れて コメ売り場
特売の キュウリトマトは どこいった

先見えて 間隔詰まる 同窓会
同期会 十五年目も 二桁で
いつからか ポツンとシニア お昼とる
いつの間にか 名物先生 任期切れ

痛い箇所 感じるあなた まだ元気
お薬は いくら飲んでも あと〇〇年
多少の 不具合出るは 年相応
カレンダー 空白埋める 通院日
医者通い できる身体に 感謝する
カード無い 私に貴重 マイナンバー
自己流が シニアスポーツ 事故理由
私たち 老後じゃなくて 老中よ
素晴らしい 投稿読んで 若返る

けやき遊歩クラブ

活動報告

研究生 川田 郁夫

4月から新体制でスタートし、6月から4回の例会を開催しました。

【第73回例会】6月8日に開催。参加者23名
京都の玄関口大山崎町の散策とアサヒビール大
山崎山荘美術館見学。



美術館前で記念撮影

【第74回例会】8月4日開催。参加者20名
平城宮跡(ツバメのねぐら入り)、西大寺見学。
多国籍料理での納涼会。

【第75回例会】9月10日開催。参加者39名
学園バス利用による琵琶湖一周の旅。

長浜市高月町渡岸寺観音堂。メタセコイヤ並
木、マキノピックランド、日吉大社。

【第76回例会】10月14日開催。参加者37名
河内長野西高野街道を歩く。

健脚コース 19名は滝谷駅から三日市町駅ま
で、ゆったりコース 18名は河内長野駅から三
日市町駅まで散策。河内長野駅から合流し、ボ
ランティアガイドさんによる案内をお願いした。



だんじり前で記念撮影

けやきテニスクラブ

クラブ活動の状況

情報学科 1 年 鈴木 好夫

クラブ活動(写真は7月、10 月)

テニスクラブは毎週木曜日の午後に活動を行っています。気候に合わせて、シニアに健康で優しいテニスをみんなで楽しんでいます。



テニスの公開講座を受講

5 月初旬から初めてのシニアのテニス公開講座(全 8 回)にテニスクラブから数人が受講しました。指導は園田学園の元監督コーチで、10 年ぶりに園田学園に戻ってこられました。

シニア de テニス・ラリー編	NEW	定員 12 名	C-06- 前
(55 歳以上対象)		本学テニス部指導者	8,800 円
木曜日 13:00~14:00【8 回】 5/16.23.30 6/6.13.20.27 7/4			
ラリーとサービス&レシーブの練習に取り組み、試合が楽しめる準備をします。			
※本講座は 55 歳以上の方が対象です。※ラケット、動きやすい服装、クレーコート・砂入人工芝コート用シューズ、タオル、水分をご持参ください(貸出用ラケットあり)。※ロッカールーム、及びシャワー室はご利用いただけません。※運動の制限がある人は、かかりつけ医に確認ください。※(ご注意)受講にご不安のある方は、ご相談ください。			

校外テニス会(写真は9月)

今年は猛暑で 9 月中旬になってから猪名川公園で校外テニス会を行いました。自由参加ですので、公開講座メンバー、クラブ OB とその友人と多彩な方々とテニスを楽しみました。



第 61 回・けやき祭

例年、「けやき祭」には大学テニス部のお手伝いで参加させて頂いていたのですが、今年は学生さんが大会と重なったためにイベントがなく、残念ながら参加が出来ませんでした。

けやき軽音楽クラブ

始動！ 新生 THE GAKU-YOU

研究生 徳田 將之

今年 4 月からメインの練習場所を大学正門前スグにある尼崎市立地域総合センターの音楽室に移し、基本的に毎週火曜の午後を全体練習日にしている。25.54 m²(8 畳弱)の広さなので大学の第一音楽室やリズム教室のようなわけにはいかないが、大学の目と鼻の先に練習場所があり、しかも低料金で利用できるのは自転車操業のクラブとしてはなんとも有難いことである。

さて、けやき軽音楽クラブ(バンド名: THE GAKU-YOU)今年度の活動は 4 月 12 日(金)の老人施設訪問演奏を皮切りに 9 月 28 日(土)まで上半期に合計 9 回(訪問演奏: 6 回、ライブ: 3 回)の演奏活動を行った。ちなみに、8 月の迷走台風 10 号で訪問演奏が 1 回中止になったので、それを加えると 10 回の演奏活動になっていた。

このうちライブは 6 月 25 日(火)の「新入生歓迎ライブ(練習成果発表会)」と 8 月 3 日(土)の「サマセミ 2024(一緒に歌おう! シニアバンドわくわくライブ)」を学内第一音楽室で、8 月 7 日(水)の「第 9 回サマーライブ」は神戸ハーバーランドのモズライトカフェで実施したが、この二つのライブについては別ページに「サマセミとサマライ」のタイトルでその模様をダイジェストにしているので、ご覧いただければ幸いです。

元々、これらライブの模様やタイムリーな活動報告は「受講生の交流ルーム(ブログ)」で都度 YouTube 動画でもご覧いただけたのだが、残念ながら 7 月中旬から閲覧できない状態が続いている。ただ、先日生涯学習センターから「来年度より学内の教育支援サービス『manaba』のコンテンツを代用すべく検討中」との連絡があったので、それによる早期の復旧を期待したい。

けやき朗読倶楽部

「けやき祭」に参加して

代表 金森 扶美子

10月27日(日)、ようやく大学恒例の「けやき祭」が終わった。

毎年「軽音楽クラブ」に寄せてもらって、軽音楽クラブの前座のように参加してきて、でもかれこれ7年ぐらい「けやき祭」に参加してきた。しかし如何せん地味な朗読だけでは集客できない(と、臆病な性格の私は考える)ので、堂々と1会場借りて発表の場を持つ自信がなかった。

だが、今年は何故だか朗読単独で発表してもいいのではと思うようになった。それはNHK大河ドラマ「源氏物語」ブームに乗っかり、何か面白い源氏物語はないものかと……ネットで探してみつけた！田辺聖子作「源氏物語」のパロディである。図書館で古い本を見つけて、本当は長い小説ではあるが、源氏と姫君の会話のみ拾いだして脚本化するアイデアが浮かんだ。それが今回発表できた朗読劇作品である。部のモットーは楽しく笑えるのが一番。ソロ朗読の発表もできました。そのためチラシも沢山配布して、部員みんなで頑張りました。

今年は近くの上ノ島センターの文化祭にも26日(土)「しちどぎつね」で連日参加という忙しい10月となったが、しんどかったけれど楽しかったので満足、満足！！(自己満足?)

観客の皆さんにも有難う！



けやきゴルフ同好会

活動報告

研究生 川田 郁夫

今年の春先から天候不順で予定した第1回と第2回の例会は中止となり、今年度の最初の例会は6月13日の神戸パインウッドゴルフ倶楽部での第3回開催となりました。授業の関係および故障者の発生によりなかなかメンバーが集まらず3名での開催となりました。今までで一番少ない参加者となりました。

夏場の例会は休会とし9月から再開いたしました。第4回の例会は9月13日に関西クラシックゴルフ倶楽部で行いました。第4回目は夏休みにもかかわらず参加者は少なく4名での参加となりました。9月でもまだ暑くきつかったようです。

第5回の例会は10月25日にライオンズカントリ倶楽部で行いました。参加者は5名でした。やはり授業が始まると日程調整は難しいです。特に今年から研究生でも余裕はないようです。

年内はあと2回の例会を予定しております。第6回の例会は11月25日に有馬ロイヤルゴルフ倶楽部での開催を予定しており、今のところ参加者は4名です。第7回の例会は12月9日に宝塚クラシックゴルフ倶楽部での開催を予定しており、参加予定は6名です。

今年度は12月の開催をもちまして終了の予定です。年明けに総会を兼ねて新年会を開催したいと思っております。

第5回例会参加者



けやきカラオケクラブ

ゆる〜い雰囲気をどうぞ！

研究生 木下 俊造

出はいり自由、おしゃべり自由のゆる〜い「けやきカラオケクラブ」は、昨年一昨年と違い、新入生の入部は未だですが、阪急塚口駅近くのジャンカラ阪急塚口店で例会を実施しています。

今年度6回の例会は、水曜日あるいは月曜日に3部屋を確保し、延べ77名の参加をいただき、例会後の90分ミーティングも含め、皆様なごやかに楽しんでおられます。

データを作成し始めた2014年以来、3541回の歌唱回数と1455曲の歌唱曲数があり、皆様の多様なジャンルと新曲へのチャレンジ、愛着のある曲への思い入れに、やはり歌は素晴らしいと感心させられています。

6月には皆様よりリクエストをいただき、7月9月例会で、前年未歌唱も含め、ほとんどの曲にトライされ100%近くの歌唱率になり、リクエストいただいた皆様への御礼と併せ、例会参加者のチャレンジ精神にも拍手です。

下記は2014年以来、12曲目以上の歌手の曲数と歌唱回数で、100回超えの歌手も。



2014年～2024年10月30日		
歌手	曲数	歌唱回数
中島みゆき	33	65
森進一	29	48
美空ひばり	22	101
三橋美智也	16	44
石川さゆり	14	58
小田純平	14	18
氷川きよし	13	39
石原裕次郎	12	34
都はるみ	12	46
舟木一夫	12	30
ちあきなおみ	12	24



今年度あと4回の例会も、「年末紅白歌合戦」「3minute トーク」等の企画も予定していますので、センター前ポストの例会案内書も参考にいただき、ぜひ覗いていただけますようお願いいたします。

「けやき便り」編集クラブ

みなさんの入部をお待ちしています！

研究生 桜井 秀也

「けやき便り」第31号を12/9に発行しました。平成22年(2010年)1月が第1号でしたので、14年を経たことになります。

「けやき便り」は、シニア専修コースの皆さんへ向けた情報誌であり、学内行事やグループ活動、そしてなにより皆さまの日ごろの個人的な思いや、さまざまな趣味や作品などを自由に投稿できる場です。

文章の上手下手は関係なし。どんな投稿をお願いします。

投稿いただいた原稿は、執筆された方の文章をできるだけそのまま、かつ読者の皆さんにわかりやすく、好感をいただけてもらうよう、タイトルや写真なども工夫しているつもりです。



ホッチキスで手作り製本
(2024.7.2 作業風景)



会議後の「たこパー」

編集会議は、ほぼ月1回開催し、その後の“たこ焼き会(たこパー)”で盛り上がり、部員間の友好を深めています。

「けやき便り」は、“園田 けやき便り”で検索すると、「けやき便りバックナンバー」が出ますので、そこをクリックして第1号から最新号までご覧いただけます。または、以下からどうぞ。

<https://onl.tw/H1n4YGt>

スマホでは、右のQRコードからご覧いただけます。



社会連携部

生涯学習センターからの お知らせ

1. 2025年度4月入学生募集開始

募集リーフレットが完成いたしましたので、ご友人やご家族で関心のある方がおられましたら是非ご紹介ください。今年度の卒業生、研究生の方の他学科への再入学も大歓迎です。11月18日(月)から面談予約受付を開始いたします。また、各学科1年生必修科目の授業観覧も行いますので皆様のご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



▲募集リーフレットはセンター
入り口に置いています。

2. 公開講座

シニア専修コースの受講生の多くの方にもご受講いただいております。2025年度前期募集につきまして、3月上旬にホームページに掲載いたします。

3. 今後の予定 (2025年)

1月14日(火) ～2月28日(金)迄に	研究生新規登録・ 継続手続き
3月3日(月)	2024年度 卒業式
4月10日(木)	2025年度 入学式
4月11日(金) ～4月18日(金)	ハンドブック・ 時間割配布/履修登録
4月14日(月)	2025年度 授業開始

※4月以降について、変更の可能性あり

※次年度「胸部レントゲン検査結果」につきまして、2025年1月以降に受検した検査結果をご提出ください。市町村で行っている健康診断(胸部X線・肺がん検診)の結果でも受付けております。(4月以降ご提出ください。)

4. その他

○学内では、必ず首からストラップを身に付けてください。

○センター前の掲示板は各自必ず確認ください。

○各学科・学年用、クラブ・同好会用の連絡メールボックスをセンターに設置しています。

5. 今年も学内で尼崎市伝統野菜「尼いも」が収穫されました!

収穫された大きな尼いもを使って、有志の学生たちが「けやき祭」の模擬店で尼いも豚汁を販売していました。ほくほくして、やさしい甘みがあって美味しかったです。



尼いもに眼玉をつけて
生涯学習センター事務所内で

▶ 編集後記 ◀

▶ 写真家の「今森光彦 昆虫記」よりオトシブミの葉巻きづくりのページを開いてみた。

まずメスが 1 枚の葉っぱを選び、葉の付け根あたりの右端から中央へ向かって切り始め、左端から同様に切る。

次に葉の主脈をかじり、葉がしおれる頃オスが飛来し交尾する。交尾しながら葉の先端へ移動し、葉が柔らかくなると二つ折りにする。

そして葉の先から巻き始め、途中でメスは卵を産み付ける。その後オスとメスは再びしっかりと葉を巻き、ゆりかごを完成させてオスとメスは飛び去って行く。

初夏の頃、ナラの木の葉にオトシブミの緻密な作業やその生態を知り、感動とともに生き物の神秘的な世界に少し触れた感じがした。

研究生 三木 静子

▶ 文章を書くのが苦手な私にとって、投稿された皆様の原稿を読ませていただき、とても勉強になります。今後とも、よろしくお願いいたします。

国際 3 年 松本 康栄

▶ 「けやき便り」の発行は、学内の樺通りが緑なす頃と、色づく頃の年 2 回。興味ある授業と研究、楽しいクラブ活動に参加しつつも、時があまりに早く過ぎることを寂しく感じます。

多くの学びに参加し、皆さんとご一緒出来たことを大変幸いに思います。

次年度も続いての皆さんからの投稿を楽しみにしております。

研究生 峠田 桂子

▶ 今号では「先生方へのインタビュー」を企画して、山本先生（情報学科）と堀田先生（国際文化学科）にに応じていただきました。

野菜作りがご趣味で、立派な収穫野菜を最高の笑顔で掲げる山本先生。大好きでたまらないモンゴルからゲルを取り寄せて、“野生育ちの愛犬”と暮ら

す堀田先生。授業でのお姿からは知り得ない、すてきなお姿に新鮮な驚きを受けました。

山本先生は、シニアの情報技術との向き合い方について、『りんご』は、食べることで、初めてこれが『りんご』だとわかる」、それと同じで「情報技術」についても、少しずつ挑戦して、隅っこでもいいから“住んでみましょう”と言われました。

食べずに決めつけたり、あきらめたりせずに、「住んでみることを」考えたいと思いました。

研究生 桜井 秀也

皆さまからの投稿をお待ちしています！

1. 原稿について

原稿の長さは、1 ページ（約 1500 字以内）、長くとも 2 ページとし、写真・イラストを挿入される場合は、そのためのスペースを本文から減らしてお書き下さい。「私の作品」につきましては、1 ページ以内でお願いいたします。

① テキストメッセージでいただける方は、下記アドレス宛にファイルをお送りください。

hideyasakurai94@gmail.com 桜井秀也

② 手書きや印刷物で頂く場合

様式は問いません。お近くの編集クラブ員にお渡しください。

③ 写真掲載について

「けやき便り」はウェブ上にも掲載されます。写真付きで投稿される方は、肖像権などの問題が生じないように事前に撮られる方の了解を得ていただくようお願いします。

2. 次の内容を含む投稿はお断りします

① 宗教・政治に関するもの

② 公序良俗に反するもの

③ 一般常識の範囲を逸脱していて、編集クラブが、掲載することを不可と判断したもの。

3. 原稿は、一部変更・修正をすることがありますのでご了承ください

① 紙面のレイアウトを整えるため。

② 編集クラブで気がついたあきらかな誤記や、わかりにくい記述、不適切な表現を避けるため。

4. 投稿される方はお名前を書いていただきますようお願いいたします